



NT-1202W ユーザーマニュアル

2026年06月22日

目次

1 システム設定	4
1.1 ファームウェアバージョンの読み取り	4
1.2 工場出荷時設定にリセット	4
1.3 作業モード	5
2 電源管理	6
2.1 睡眠時間を読む	6
2.2 睡眠時間を設定する	7
2.3 コード読み取りデバイスのバッテリー残量を取得する	8
3 情報プロンプト	8
3.1 ブザー制御	8
3.2 振動モーター制御	10
3.3 ブザー音の定義	11
3.4 インジケータライトの定義	11
4 有線モード	11
4.1 USB 送信方法	12
4.2 USB キーボードの送信速度	12
4.3 USB HID マルチキー送信設定	14
5 ワイヤレスモード	14
5.1 インターフェイス設定の読み取り	14
5.2 無線伝送方式	14
5.3 2.4G ペアリング	15
5.4 受信機の動作モード	15
5.5 2.4G 送信キャッシュ	17
6 藍牙モード	18
6.1 インターフェイス設定の読み取り	18
6.2 藍牙送信方法	18
6.3 藍牙動作モード	18
6.4 藍牙名の変更	19
6.5 藍牙 HID ペアリングをクリアする	19
6.6 システムキーボードの機能	20
6.7 藍牙と 2.4G を 8 秒間押し続けると切り替わります。	21
6.8 藍牙キーボードの送信速度	21
6.9 藍牙接続ステータスがスリープ設定にならない	22
7 キーボード設定	23
7.1 HID Keyboard General Setting	23
7.2 キーボードの言語設定	30
8 キーボード言語	31
8.1 現在のキーボードレイアウトを読み取る	31
9 データ編集	37
9.1 標準データ編集設定	37
9.2 拡張データ編集設定	44

9.3	端末文字設定	46
9.4	GS1 AI フィールドブラケット設定	47
10	読書モード	49
10.1	バーコードデコード読み取りモード	49
11	MOD の設定	52
11.1	デバイスの機能設定	52
11.2	トリガー設定	53
11.3	エンジン Code ID	56
11.4	エンジン出力フォーマット	58
11.5	バーコード設定	59
11.6	エンジンセッティングコード	94
11.7	エンジンキャラクターテーブル	96
12	付録	114
12.1	文字検索テーブル	114

1 システム設定

1.1 ファームウェアバージョンの読み取り



ファームウェアバージョンの読み取り

1.2 工場出荷時設定にリセット

注釈

「カスタムデフォルトの書き込み」が実行されている場合、「デフォルトの復元」はそれらのカスタムデフォルトを復元します。それ以外の場合は、工場出荷時のデフォルト値が復元されます。

重要

「工場出荷時のデフォルトに設定」は、すべてのカスタムデフォルトをクリアし、工場出荷時のデフォルトに戻します。



カスタムデフォルトを復元する



カスタムのデフォルト値を書き込む



工場出荷時のデフォルトを設定する

1.3 作業モード

i 注釈

データのアップロードプロセス中に、「データアップロード」コマンドを再度スキャンすると、現在のアップロードはキャンセルまたは停止されます。

i 注釈

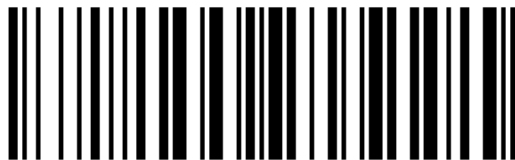
無線送信モードで自動保存を有効にすると、送信に失敗したバーコードが自動的に保存され、保存されたデータは「データアップロード」で読み込むことができます。



* 通常モード



ストレージモード



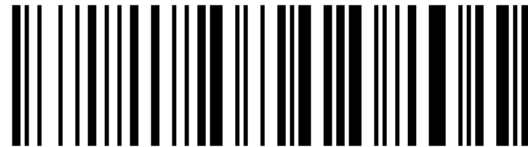
ストレージデータのアップロード



保存されているバーコードの総数を読み取ります



アップロード後にストレージデータをクリアする



ストレージスペースの使用状況を読み取る



保存されたバーコードをクリアする



* 自動ストレージモードが無効になっています



自動ストレージモードが有効になっています

2 電源管理

2.1 睡眠時間を読む



睡眠時間を読む

2.2 睡眠時間を設定する



今すぐ冬眠します



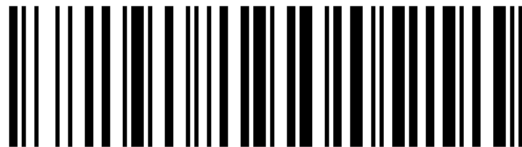
1 分後に寝る



3 分後にスリープ (デフォルト)



5 分後に寝る



10 分後に寝る



30 分後に寝る



1 時間後に寝る



2 時間後に寝る



決して眠らないでください

2.3 コード読み取りデバイスのバッテリー残量を取得する



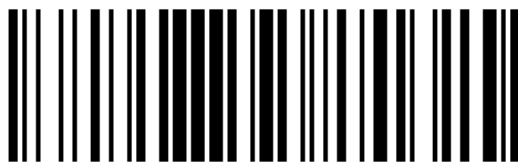
バッテリー残量を取得する

3 情報プロンプト

3.1 ブザー制御



ミュート



* 大音量



中程度の音量



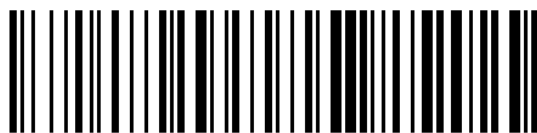
小さい音量



* 高音



低音



* SDK 音声応答が無効になっています



SDK 音声応答の有効化

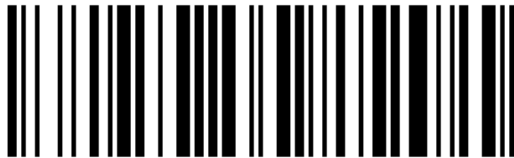


ベース接続ブザープロンプトスイッチ

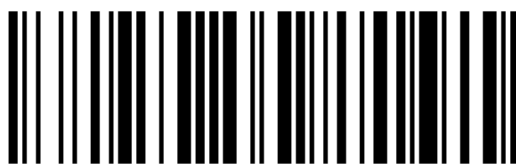
3.2 振動モーター制御

注釈

振動モーターはビープ音とともに動作しますが、すべてのモデルがこの機能をサポートしているわけではありません。



無効にする



有効にする

3.3 ブザー音の定義

タイプ	音	意味	音声ファイル
ビープ	ワントーン（ツートーン）	ストレージモードの読み取り。シャットダウンプロンプト。	storage-mode.m4a、shutdown.m4a
ビープ	1 音（3 音）	電源投入時のプロンプト。設定は成功しました。アップロードモード転送完了プロンプト。	startup.m4a、wireless-setting.m4a
ビープ	短い音（同じ音）	バーコード読み取り成功プロンプト。	one-beeps.m4a
ビープ	30 秒間の連続した短いトーン	2.4G ペアリングモードは、レシーバーが挿入されるのを待ちます。ペアリングが成功すると停止します。	pair2.4G.m4a
アラーム音	2 トーン（同トーン）	読み取り中の電力不足アラーム。	two-beeps.m4a
アラーム音	3 音（同音）	インベントリモードストレージエラーまたはストレージ容量超過アラーム。	three-beeps.m4a
アラーム音	送信失敗音	バーコードの送信が失敗した場合にアラームを鳴らします。	まだ音声がありません
アラーム音	5 音（同音）	バッテリー残量が少ないと起動障害が発生します。	five-beeps.m4a

3.4 インジケータライトの定義

インジケータライト	州
赤信号/緑信号	充電中は赤色のライトが点灯し、緑色のライトが消灯します。完全に充電されると、赤色のライトが消え、緑色のライトが点灯します。
ブルーライト	ブザー動作に続き、ブザーが鳴ると点灯、鳴らないと消灯します。藍牙モードをサポートするモデルは、藍牙接続ステータスを示すためにも使用されます。

4 有線モード

i 注釈

有線伝送をサポートするコード読み取りデバイスにのみ適用されます。

4.1 USB 送信方法



* USB キーボードモード



USB 仮想串口モード

i 注釈

自動インターフェイス選択を有効にすると、デバイスは有線と無線の間で自動的に切り替わります。USB ケーブルが接続されている場合、有線モードが最初に使用されます。USB ケーブルが接続されていない場合、または USB が利用できない場合、コード読み取りデバイスは 2.4G モードで動作します。一部のモデルではこの機能をサポートしていない場合があります。



* 有線/無線自動選択が有効です



有線/無線自動選択無効

4.2 USB キーボードの送信速度

i 注釈

この設定は、RF、超長いバーコードの藍牙送信、およびストレージデータのアップロードの速度にも影響します。



* 最高速度



トップスピード



中速



中速



キーボードの読み取り速度



キーボードの読み取り速度

4.3 USB HID マルチキー送信設定

注釈

このセクションの設定は、Windows システムにのみ適用されます。



USB HID マルチキー送信有効



* USB HID マルチキー送信は無効です

5 ワイヤレスモード

注釈

2.4G 送信をサポートするコード読み取りデバイスにのみ適用されます。

5.1 インターフェイス設定の読み取り



現在のインターフェース設定

5.2 無線伝送方式

注釈

青いライトは常に点灯または点滅し、現在のモードが藍牙であることを示します。青いライトが消えている場合は、現在のモードが 2.4G モードまたは USB 有線モードであることを示します。



2.4G 送信モード

5.3 2.4G ペアリング

重要

ワイヤレス 2.4G モードでのみ有効です。



2.4G ペアリングを開始します



1 対 1 のペアリング



1 対 1 のペアリング

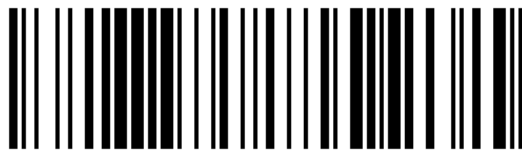
5.4 受信機の動作モード

注釈

コンポジットデバイスモードは、FWVerL 以降の受信機でのみ使用できます。ReceiverAddress.exe を使用してペアリングバーコードを生成し、それをスキャンしてペアリングを完了することもできます。



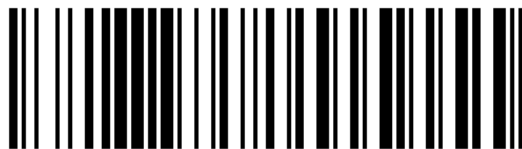
複合デバイスとしての受信機



仮想シリアルポートとしてのレシーバー

i 注釈

このモードでは、仮想シリアルポートドライバをインストールする必要があります。



キーボードとしての受信機

受信機キーボードの通信速度

i 注釈

このセクションの手順は、FWVerL 以降の受信機にのみ適用されます。コード読み取りデバイスと受信機の送信速度が一致している必要があります。一致しないと、長いバーコードを送信するときにエラーが発生する可能性があります。

ii 重要

このコマンドはワイヤレス 2.4G モードでのみ有効で、受信機は正常に接続されています。



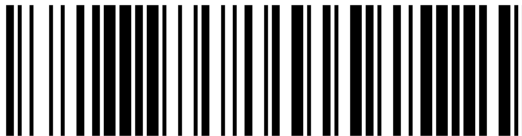
キーボードの読み取り速度

i 例

KB SP=2,4 は、USB のキーボード速度が 2ms、受信機のキーボード速度が 4ms であることを意味します。



レシーバーキーボード高速



レシーバーキーボード中速



レシーバーキーボード低速

i 注釈

無線 2.4G モードでのみ有効で、受信側は正常に受信します。

5.5 2.4G 送信キャッシュ

i 注釈

このコマンドは、この機能をサポートする一部のコード読み取りデバイスにのみ適用されます。設定コードをスキャンした後、2 回の短いビープ音が無効を示し、1 回の 3 音ビープ音が有効を示します。

通常のバーコードをスキャンする場合、バーコードのデータ量が多くスキャン間隔が短く、データのアップロードが間に合わない場合に、この設定コードを使用してデータのキャッシュを有効または無効にすることができます。



SRAM キャッシュスイッチ

通常モードでは、データキャッシュを有効にした後、デバイスが一時的に通信距離を離れてオフライン状態になった場合、この設定を使用して、キャッシュされたデータをアップロードする前に接続を待つか、キャッシュされたデータをクリアするかを選択できます。



オフラインキャッシュスイッチ

6 藍牙モード

i 注釈

藍牙機能を備えた RF+BT コード読み取り装置にのみ適用されます。

6.1 インターフェイス設定の読み取り



現在のインターフェース設定

6.2 藍牙送信方法

i 注釈

青いライトは常に点灯または点滅し、現在のモードが藍牙であることを示します。青いライトが消えている場合は、現在のモードが 2.4G モードまたは USB 有線モードであることを示します。



藍牙送信

6.3 藍牙動作モード

i 注釈

藍牙モードでのみ有効です。

注釈

蓝牙動作モードを切り替える前に、ホストとコード読み取りデバイスの両端のペアリング情報をクリアする必要があります。



蓝牙 HID キーボード (デフォルト)



蓝牙 SPP シリアルポート



蓝牙 BLE シリアルポート



蓝牙基本送信モード

注釈

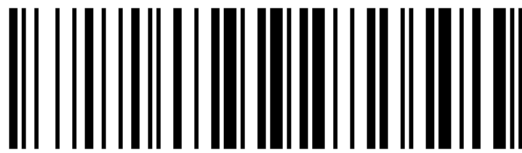
すでにペアリングされている蓝牙ベースとのペアリングに適しています。ベースのバーコードが破損している場合は、小さなツール BluetoothAddress.exe を使用してペアリングバーコードを生成することもできます。

6.4 蓝牙名の変更

新しい蓝牙名を入力したら、生成された QR コードをスキャンして設定を完了します。ホストが変更後に古いペアリング記録を保存している場合は、まず古いペアリングを削除して、接続を再度検索してください。

6.5 蓝牙 HID ペアリングをクリアする

蓝牙送信モードで「ペアリングのクリア」をスキャンした後、コード読み取りデバイスは現在ペアリングされているデバイスを切断し、ペアリングリストをクリアしてから、新しいデバイスのペアリングを待ちます。過去にペアリングしたデバイスを削除し、再度ペアリングする必要があります。



蓝牙ペアリングをクリアする

6.6 システムキーボードの機能

iOS システムのポップアップキーボード機能



iOS キーボードのポップアップ/非表示



トリガーボタンを 4 秒間長押しすると、iOS キーボードスイッチがポップアップします。



トリガーボタンをダブルクリックして、iOS キーボードスイッチをポップアップ表示します。

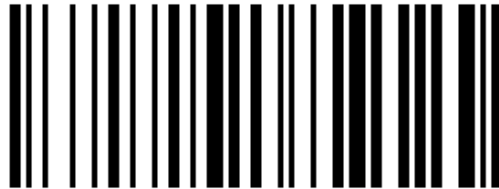


送信後に iOS キーボードスイッチをポップアップ表示する

Windows Caps Lock の検出

i 注釈

このコマンドは、一部の藍牙コード読み取りデバイスにのみ適用されます。設定コードをスキャンした後、2 回の短いビープ音が無効を示し、1 回の 3 音ビープ音が有効を示します。



Windows Caps Lock 検出スイッチ

6.7 藍牙と 2.4G を 8 秒間押し続けると切り替わります。

i 注釈

このコマンドは一部の RF+BT コード読み取りデバイス (DS、C、RT) にのみ適用されます。有効にした後、トリガーボタンを 8 秒以上押し続け、放すと RF/BT が切り替わります。16 秒以上押し続けると、コード読み取り装置がシャットダウンし、モードは切り替わりません。設定コードをスキャンした後、2 回の短いビープ音が無効を示し、1 回の 3 音ビープ音が有効を示します。



トリガーボタンを 8 秒間押し続けると、RF/BT スイッチが切り替わります。

6.8 藍牙キーボードの送信速度

i 注釈

藍牙モードでのみ有効です。



藍牙 HID 遅延の読み取り



高速 (2ms)



高速 (6ms)



* 中速 (10 ミリ秒)



中速 (18ms)



低速 (25ms)



低速 (30ms)

6.9 藍牙接続ステータスがスリープ設定にならない

注釈

設定コードをスキャンした後、2 回の短いビープ音が無効を示し、1 回の 3 音ビープ音が有効を示します。



蓝牙接続ステータス非スリープスイッチ

7 キーボード設定

7.1 HID Keyboard General Setting

HID 共通設定

注釈

このセクションの一般的な HID モード設定は、USB キーボード、RF2.4G キーボード、BT HID キーボードに適用されます。

Ctrl キーの組み合わせの設定



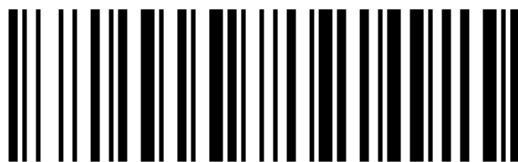
* 結合キーオフ



Ctrl+ Key Config1



Alt+ Key Config2



Normal-Key Config3



Ctrl+ Key Config4



Alt+ Key Config5

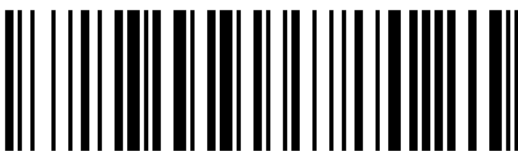
i 注釈

only for ASCII <0x20 chars, Alt+ key only for Windows system.

ケースの設定



普通



スワップケース



すべて大文字



すべて小文字

※ キーボード言語を ALT、TH に設定した場合、大文字と小文字の設定は適用されません。

Num Lock の設定



Num Lock が無効になりました



Num Lock が有効になりました

※ 受信端末が携帯電話の場合、Num Lock の設定をオフにしておかないと番号が表示されません。

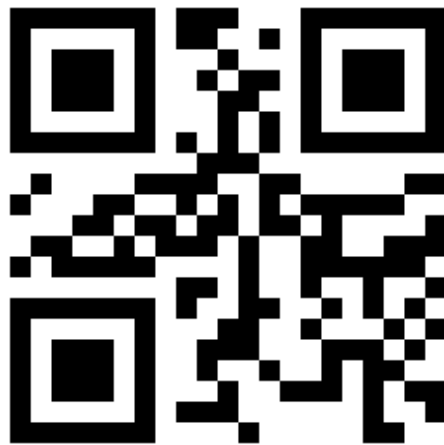
文字セット設定を入力します

注釈

この設定は、特定のモジュールの 2D コード読み取りデバイスにのみ適用され、2D モジュールの出力文字セットと一致します。



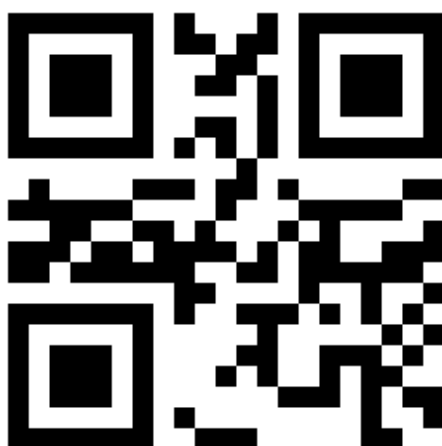
現在の文字セット設定を読み取る



自動



GBK / BIG5 / HANGUL / SJIS



ISO/IEC 8859



UTF8 (ワード)



UTF8 (送信)



ノーマルモード

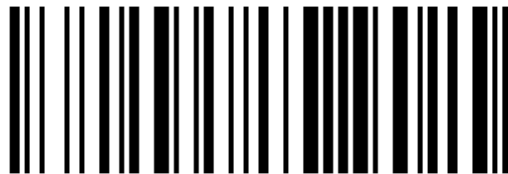
例証します:

モデル	該当するシナリオ	コード読み取りモジュールの出力文字セット	限界
Auto	入力文字セットを UTF8 または ISO/IEC 8859 として自動的に選択します。Word または Txt 出力は、最後の UTF8 設定に基づいています。	プリミティブ型	なし
GBK	Windows のメモ帳、Excel の中国語入力。	GBK (GB2312) またはオリジナルのタイプ	Windows システムのみに適用されます。
UTF8 (Word)	Word、QQ 中国語入力。	UTF8 またはプリミティブ型	Windows システムのみに適用されます。
ISO/IEC 8859	ヨーロッパのシングルバイト特殊文字 (>= C0H)。FR、GE、TR、PT、ES、CS、IT、UK、HU、SK に適しています。	プリミティブ型	リストにない言語はカスタマイズで追加する必要があります。
UTF8 (Txt)	Windows のメモ帳で特殊文字を入力するには、Unicode プラグインをインストールする必要があります。	UTF8 またはプリミティブ型	Windows システムのみに適用されます。
Normal	FR、GE、TR、PT、ES、CS、IT、UK、HU、SK キーボードの文字に適した多言語特殊文字。	UTF8 またはプリミティブ型	リストにない言語はカスタマイズで追加する必要があります。

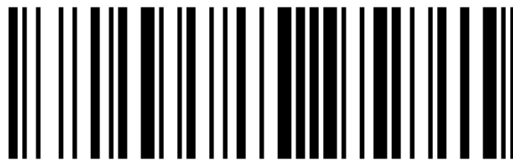
受信デバイスの選択

注釈

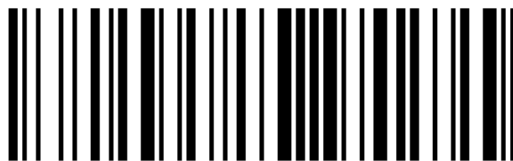
このセクションは、さまざまな受信デバイスが ASCII 文字 (0x20 から 0x7F) を入力する方法を設定するために使用され、[鍵盤言語設定](#) と組み合わせて使用 する必要があります。



現在の受信デバイス設定を読み取る



Windows デバイス



iPhone/iPad/Mac デバイス



Android デバイス

*IOS/MAC デバイスは現在有効です: FR、DE、TR、PT、ES、CS、IT、UK、HU、SK。ドキュメント「バーコードスキャナー用の MAC iPhone iPad キーボードレイアウト.docx」を参照してください。

※Android 端末には Google Gboard 入力方式を一律にインストールすることを推奨します。「バーコードスキャナー用 Android デバイスのキーボードレイアウト.docx」ドキュメントを参照してください。

7.2 キーボードの言語設定

➡ 参考

キーボード言語設定は別のページ ([鍵盤语言设置](#)) に分割されました。

8 キーボード言語

8.1 現在のキーボードレイアウトを読み取る



現在のキーボードレイアウトを読み取る

L1 *ENUSA アメリカ EN キー



* 米国英語キーボード

L2 FR フランスフランス語キー



フランス語フランス語キーボード

L3 DE ドイツドイツキー



ドイツ語ドイツ語キーボード

L4 ITItaly イタリアキー



イタリア語キーボード

L5 PT ポルトガルキー



ポルトガル語キーボード

L6 ES スペインスペインキー



スペイン語キーボード

L7 TR トウルキエトルコキー



トルコ語 Q キーボード



トルコ語 F キーボード

L8 ENUK 英国キー



イギリス英語キーボード

L9 CS チェコ語チェコ語キー



チェコ語キーボード



チェコ語の標準キーボード

L10 HU ハンガリーハンガリーキー



ハンガリー語キーボード

L11 FR ベルギー (フランス語) ベルギー FR キー



ベルギーフランス語キーボード

L12 PT ブラジル (ポルトガル語) ブラジル PT キー



ブラジル系ポルトガル語キーボード

L13 FR カナダ語フランス語 (繁体字) カナダ語 FR キー



カナダフランス語 (繁体字) キーボード

L14 HR クロアチアキー



クロアチア語キーボード

L15 SK スロバキアスロバキアキー



スロバキア語 QWERTY キーボード



スロバキア語キーボード

L16 DA デンマークデンマークキー



デンマーク語キーボード

L17 FI FINLAND キー



フィンランド語キーボード

L18 ES ラテンアメリカ (スペイン語) ラテンアメリカ ES キー



ラテンアメリカスペイン語キーボード

L19 NL オランダオランダキー



オランダ語キーボード

L20 ノルウェーノルウェーキー



ノルウェー語キーボード

L21 PL ポーランドポーランドキー



ポーランド語キーボード

L22 SR セルビア (ラテン) セルビアキー



セルビア語ラテン語キーボード

L23 SL スロベニアキー



スロベニア語キーボード

L24 SVSweden スウェーデンキー



スウェーデン語キーボード

L25 DE スイス (ドイツ語) スイス DE キー



スイスドイツ語キーボード

L26 JP 日本語日本語キー



日本語キーボード

L27 TH タイタイキー

注釈

タイ語キーボードを使用する場合、コード読み取りモジュールも TH 出力に設定する必要があります。



タイ語キーボード

参考

参照ファイル: RF2.4G、藍牙設置 _ 中文、泰語、韓国.docx。

L28 ALT インターナショナルキーボード ALT グローバルキー

注釈

ALT インターナショナルキーボードは Windows システムにのみ適用され、ホストのキーボード設定の影響を受けませんが、転送速度が低下します。



ALT インターナショナルキーボード

L29 ALT シングルバイト特殊キーボード ALT シングルバイト特殊キー



ALT 半角特殊文字キーボード

i 注釈

このセクションに記載されていない言語をサポートするにはカスタマイズする必要があります。

9 データ編集

9.1 標準データ編集設定

このセクションでは、設定コードを使用して、プレフィックス、サフィックス、非表示文字などの一般的な出力ルールを設定する方法を説明します。

プレフィックス、サフィックス、隠し文字の設定

最大 10 個のプレフィックスまたは 10 個のサフィックスを出力データに追加できます。設定する場合は、ASCII 値に対応する 2 桁の 16 進数の設定コード (つまり 2 つのバーコード) をスキャンしてください。

➡ 参考

文字値については、[ASCII ファンクションキー文字比較表](#) および [ASCII 文字比較表](#) を参照してください。値の入力が必要なパラメータについては、[デジタル設定コード](#) をスキャンしてください。具体的な手順については、「[プレフィックスまたはサフィックスの追加ステップ](#)」を参照してください。

バーコードの最初、中間、または最後の文字を非表示にするように設定できます。対応する非表示設定コードをスキャンした後、非表示にする文字の長さに対応する 2 桁の 16 進数の設定コードをスキャンします (00 ~ FF、たとえば 4 文字を非表示にする場合は、0、4 を順にスキャンします)。

➡ 参考

文字を非表示にするプロセスについては、バーコードの最初/中間/末尾の文字を非表示にする手順を参照してください。

オペコード



プレフィックスを追加する



接尾語を追加



すべてのプレフィックスをクリアする



すべてのサフィックスをクリア



最初のバーコードの文字数を非表示にする



バーコード中央の開始桁を非表示にします



バーコードの途中の文字数を非表示にする



バーコードの末尾の文字数を非表示にする

デジタル設定コード

指定値が必要なパラメータについては、対応するデジタル設定コードをスキャンしてください。



デジタル設定コード 0



デジタル設定コード 1



デジタル設定コード 2



デジタル設定コード 3



デジタル設定コード 4



デジタル設定コード 5



デジタル設定コード 6



数値セットアップコード 7



デジタル設定コード 8



数値セットアップコード 9



デジタル設定コード A



デジタル設定コード B



デジタル設定コード C



デジタル設定コード D



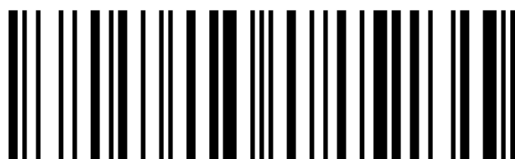
デジタル設定コード E



デジタル設定コード F

出力形式の設定

出力データ形式を変更する必要がある場合は、以下の対応する設定コードをスキャンしてください。



デフォルトの出力形式



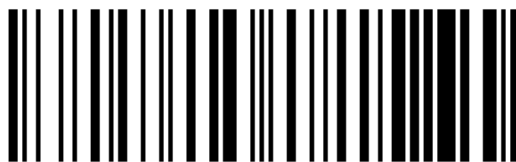
出力サフィックスを許可する



出力プレフィックスを許可する



バーコードヘッダーコンテンツを非表示にすることができます



バーコードの中央のコンテンツを非表示にすることができます



バーコード末尾のコンテンツを非表示にすることができます

手順例

プレフィックスまたはサフィックスの追加ステップ

1. プレフィックスとサフィックスの出力が有効になっていない場合は、まず対応する出力フォーマットコードをスキャンしてください。
2. 新しい文字は既存のサフィックスに追加されます。元のサフィックスを破棄したい場合は、「すべてのプレフィックス/サフィックスをクリア」をスキャンしてリセットしてください。
3. 「プレフィックスの追加」または「サフィックスの追加」設定コードをスキャンします。
4. [ASCII ファンクションキー文字比較表](#) または [ASCII 文字比較表](#) に基づいて、入力するプレフィックスまたはサフィックスに対応する 16 進値を決定します。
5. 対応する 2 桁の 16 進数設定コードをスキャンします。
6. 文字を追加し続ける場合は、手順 4 と 5 を繰り返します。

i 例

プレフィックスとして **Ctrl+A** を追加する必要がある場合は、「プレフィックスの追加」「9」「7」「4」「1」を順にスキャンします。

i 例

Ctrl+Alt+A をサフィックスとして追加する必要がある場合は、「サフィックスの追加」「9」「7」「9」「9」「4」「1」を順にスキャンします。

バーコードの最初/中間/末尾の文字を非表示にする手順

1. バーコードのヘッダー、中間の開始ビット、中間の長さ、または末尾の文字を非表示にする設定コードをスキャンします。

2. 非表示にする文字の長さに対応する 16 進値を決定します (たとえば、4 文字を非表示にする場合は、0、4 をスキャンします。12 文字を非表示にする場合は、0、C をスキャンします)。
3. 対応する 2 桁の 16 進数設定コードをスキャンします。
4. 出力書式設定コードを通じて隠し文字機能を有効または無効にします。

9.2 拡張データ編集設定

このセクションでは、完全なコマンドからデータ編集設定コードを一度に生成できます。一括設定、リモートでのシリアルコマンド送信、または文字置換が必要な場合に適しています。

ワンコード設定オンライン生成ツール

注釈

オンライン生成ツールは HTML マニュアルでのみ表示されます。設定コードを生成した後、生成されたバーコードを直接スキャンして設定を完了できます。また、下記のコマンド形式でシリアルコマンドとして送信することもできます。

プレフィックスを追加する

接尾語を追加

バーコード先頭文字を非表示

バーコード中央文字を非表示

バーコード末尾文字を非表示

文字置換

ワンコード設定コマンド形式

編集形式:

`$DATA#ncllxx#`

n

1 サフィックス。2 プレフィックス。3 は、バーコードの末尾の内容を非表示にします。4 は、バーコードの中央のコンテンツを非表示にします。5 は、バーコードの最初のコンテンツを非表示にします。7 は文字を置き換えます。

c

Code ID は、現在、すべてのコードシステムを示す 0 のみをサポートしています。

ll

長さ、16 進値: 接頭辞と接尾辞 01~0A、01~FF を非表示、01~05 を置き換えます。

xx

ASCII 値。16 進数は、\x に 2 文字を加えたもので表現でき、文字の範囲は 0~9、A~F です。

表 1: ワンコード設定例

注文	意味
\$DATA#1005abcd\x03#	0x05 サフィックスを追加します: abcd + 0x03。
\$DATA#200ANETUM12345#	0x0A プレフィックス NETUM12345 を追加します。
\$DATA#3008#	バーコードの末尾にある 0x08 文字を非表示にします。
\$DATA#40050A#	バーコード内の 0x05 文字の後の 0x0A 文字を非表示にします。
\$DATA#5011#	バーコードヘッダー 0x11 バイトを非表示にします。
\$DATA#7001\x1D02GS#	GS (0x1D) 文字を GS に置き換えます。
\$DATA#7002NT01Z#	NT を Z に置き換えます。

文字置換操作

形式: \$DATA#70 + 被替换字符长度 + 被替换字符 + 替换后数据长度 + 替换后数据 #

置換される文字と置換される文字の長さの合計は 6 以下で、1～6 文字が 5～0 文字に置換されることがサポートされます。



置換設定の読み取り



置換設定をクリアする

例

\$DATA#7001\x1D02GS# は、表示不可能な文字 GS (0x1D) を GS に置き換えて表示することを意味します。



文字置換操作: GS からテキスト GS へ

例

\$DATA#7001\x0A01\x0D# は、LF (0x0A) を CR (0x0D) に置き換えることを意味します。



文字置換操作: LF から CR

i 例

\$DATA#7006ABCDEF00# は、文字列 ABCDEF を何も置き換えない、つまり表示しないことを意味します。

9.3 端末文字設定

i 注釈

この端末文字は、デコードモジュールのサフィックスやワイヤレスサフィックスから独立しているため、デコードモジュールにサフィックスがない場合でも、迅速な設定が容易になります。



なし (デフォルト)



CR を入力してください



タブ文字 TAB



キャリッジリターンとラインフィード CRLF



改行 LF

9.4 GS1 AI フィールドブラケット設定

注釈

一部の AI フィールドのみが適用され、特別なバージョンのサポートが必要です。



生の形式 (デフォルト)



括弧を追加する



括弧を追加し、CR で区切ります。



括弧を追加し、TAB で区切ります

10 読書モード

10.1 バーコードデコード読み取りモード



キースキャンモード（デフォルト）



連続スキャンモード

注釈

連続スキャンモードは、連続高速スキャンシナリオに適しています。トリガーボタンを押して、開始または停止をトリガーします。



キーパルススキャンモード

i 注釈

キーレベルの変化を検出すると読み取りを開始し（約 30ms 保持）、再度キーレベルの変化を検出すると読み取りを終了します。読み取りが成功するかタイムアウトになると、読み取りは終了します。



ホストトリガーモード（一部のカスタマイズモデルにのみ適用）

i 注釈

ホストトリガーモードは一部のカスタマイズモデルにのみ適用されます。



バッチスキャンモード（一部のカスタマイズされたモデルにのみ適用可能）

デコードタイムアウト

このパラメータは、スキャン試行中にデコード処理が継続する最大時間を設定します。デフォルト: 3000ms、範囲: 0500 ~ 9999ms。



3 秒 (デフォルト)



6 秒

インターバル時間

連続モードでの 2 つの読み取り間の間隔。デフォルト: 500ms、範囲: 0100 ~ 9999ms。



0.5 秒 (デフォルト)



1 秒



設定開始

11 MOD の設定

11.1 デバイスの機能設定

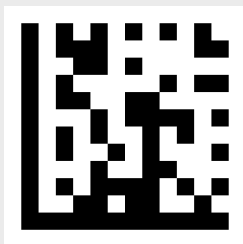
重要

このページの設定は全て「設定開始 → 機能設定コード → 設定終了」で実行されます。

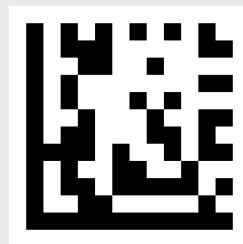
照準ライト



スキャン時に有効にする

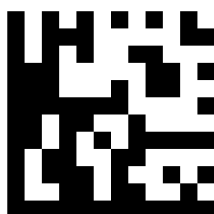


* 常に有効

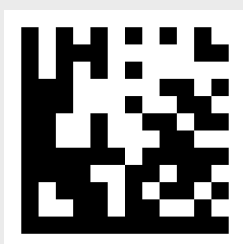


無効にする

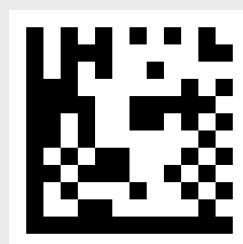
補助光動作モード



* スキャン時に有効になります



常に有効



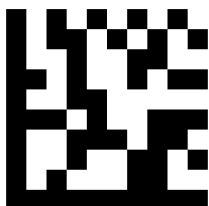
無効にする



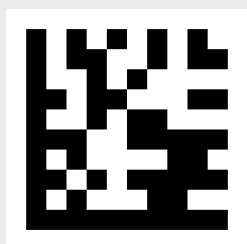


設定開始

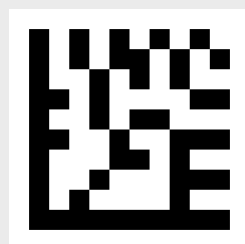
補助光の強度



* 高輝度



中レベルの明るさ



低輝度

11.2 トリガー設定

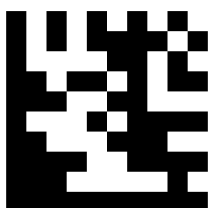
重要

このページの設定は全て「設定開始 → 機能設定コード → 設定終了」で実行されます。

スキャンモード

トリガーされたレベル

スキャンキーを押している間スキャンを行い、デコードが完了するか読み取り時間を超えると終了します。

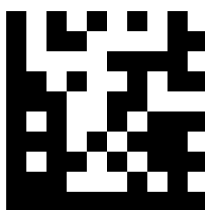


* レベルトリガー

自動誘導

画像が変化したらスキャンを開始し、読み取り時間が経過すると終了します





自動誘導

連続スキャン

単一または複数のバーコードを連続的に読み取り (同じコード読み取り間隔設定を通じてデコードシーケンスを定義)、スキャンボタンを押して放してスキャンを開始または終了します。



連続スキャン

同じバーコードを読み取る

自動検知モード、連続スキャンモード、パルストリガモードで同じバーコード読み取り方法を設定できます。

注釈

デフォルトでは、500 ms の同じバーコードは繰り返し読み取られません。読み取り時間は 0~5000 ms に設定できます。0 はインターバル時間なしを意味します。

読み取りを制限する

制限時間内に同じバーコードを連続して読み取った場合、バーコードは無視されて出力されず、タイマーが再スタートします。

インターバル読み取り

一定間隔内で同じバーコードを連続して読み取った場合、そのバーコードは無視され出力されません。間隔を超えると再度出力されます。

同じバーコードを読み込まないでください

同じバーコードを繰り返し読み取ることはありません。

設定例: 100 ミリ秒以内に繰り返し読み取った同じバーコードを出力しない

1. 「セットアップの開始」をスキャンします。
2. 「読み取り制限」設定コードをスキャンします。



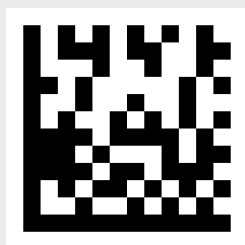


設定開始

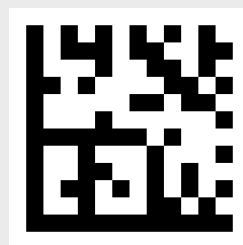
3. 「読み取り時間」設定コードをスキャンします。
4. 10進数内の1設定コードをスキャンします。
5. 10進数内の0設定コードをスキャンします。
6. 10進数内の0設定コードをスキャンします。
7. 「セットアップの終了」をスキャンします。

i 設定例：1秒間隔で同じコードを読み込む

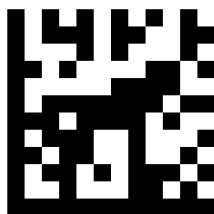
1. 「セットアップの開始」をスキャンします。
2. 「インターバル読み取り」設定コードを読み取ります。
3. 「読み取り時間」設定コードをスキャンします。
4. 10進数内の1設定コードをスキャンします。
5. 10進数内の0設定コードをスキャンします。
6. 10進数内の0設定コードをスキャンします。
7. 10進数内の0設定コードをスキャンします。
8. 「セットアップの終了」をスキャンします。



* 読み取りを制限する



インターバル読み取り

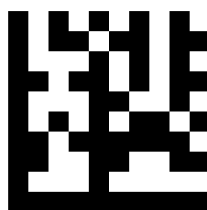


同じバーコードを読み込まないでください



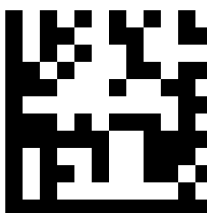


設定開始

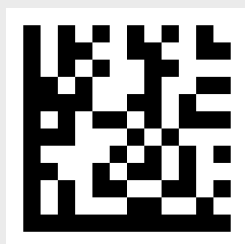


読み取り時間 (ミリ秒)

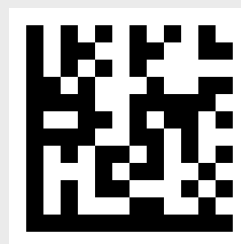
自動検知感度



感度が低い



* 中感度



高感度

11.3 エンジン Code ID

重要

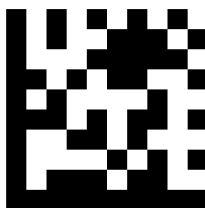
このページの設定は全て「設定開始 → 機能設定コード → 設定終了」で実行されます。

バーコード識別コード

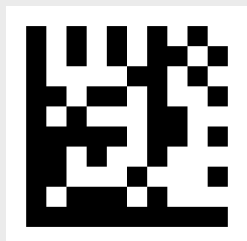




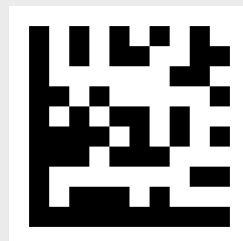
設定開始



* バーコード識別コードを無効にする



AIM バーコード識別を有効にする



NETUM バーコード識別を有効にする

バーコード識別コード表

Symbology	NETUM	AIM
UPC-A	A	E
UPC-E	E	E
EAN-8	FF	E
EAN-13	F	E
Code 128	K	C
Code 39	M	A
Code 93	L	G
Code 32	M	A
Code 11	O	H
Codabar	N	F
Plessey	P	P
MSI / Plessey	a	M
Interleaved 2 of 5	I	I
IATA 2 of 5	Z	R
Matrix 2 of 5	G	X
Straight 2 of 5	S	S
Pharmacode	H	X
GS1 DataBar 14	RS	e
GS1 DataBar Expanded	RX	e
GS1 DataBar Limited	RL	e
Composite CC-A	m	e
Composite CC-B	n	e
Composite CC-C	i	e
PDF417	r	L
Micro PDF417	s	L
Data Matrix	t	d

次のページに続く





設定開始

表 2 - 前のページからの続き

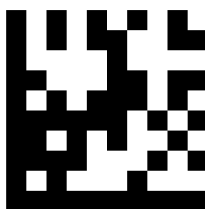
Symbology	NETUM	AIM
QR Code	u	Q
Micro QR	j	Q
Aztec	e	Z
MaxiCode	v	U

11.4 エンジン出力フォーマット

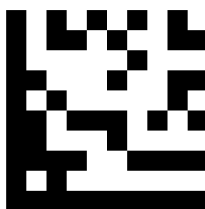
重要

このページの設定は全て「設定開始 → 機能設定コード → 設定終了」で実行されます。

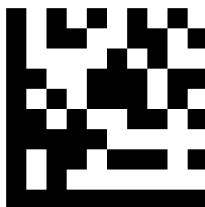
終端文字



なし

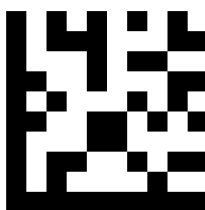


* / CR と入力してください



CR / LF





TAB

11.5 バーコード設定

重要

このページの設定は全て「設定開始 → 機能設定コード → 設定終了」で実行されます。

サポートコード体系

コーディングシステム	州
UPC-A	* 有効にする
UPC-E	* 有効にする
EAN-8	* 有効にする
EAN-13	* 有効にする
Code 128 / GS1-128	* 有効にする
Code 39	* 有効にする
Code 93	* 有効にする
Code 32	無効にする
Code 11	無効にする
Codabar	* 有効にする
Plessey	無効にする
MSI Plessey	* 有効にする
Interleaved 2 of 5	* 有効にする
IATA 2 of 5	無効にする
Matrix 2 of 5	無効にする
Straight 2 of 5	無効にする
Pharmacode	無効にする
GS1 DataBar 14	* 有効にする
GS1 DataBar 14 Stacked	無効にする
GS1 DataBar Expanded	* 有効にする
GS1 DataBar Expanded Stacked	無効にする
GS1 DataBar Limited	* 有効にする
Composite Code-A	無効にする
Composite Code-B	無効にする
Composite Code-C	無効にする
PDF417	* 有効にする
MicroPDF417	* 有効にする
Data Matrix	* 有効にする
QR Code	* 有効にする

次のページに続く





設定開始

表 3 - 前のページからの続き

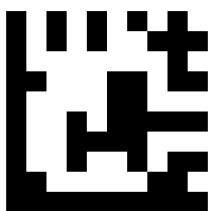
コーディングシステム	州
Micro QR	* 有効にする
Aztec	無効にする
MaxiCode	無効にする

ユニバーサルコードスイッチ

重要

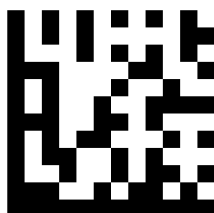
このグループの全ての設定は「設定開始 → 機能設定コード → 設定終了」で行います。

すべてのバーコードを開く



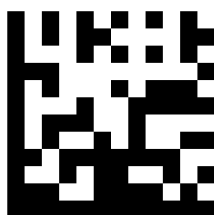
すべてのバーコードを開く

1D コードのみを有効にする



1D コードのみを有効にする

QR コードのみを有効にする



QR コードのみを有効にする





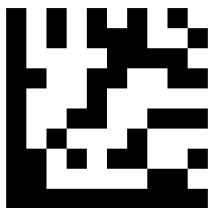
設定開始

1 次元コードの設定

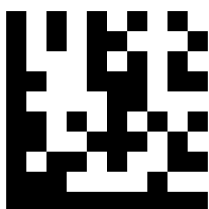
重要

このグループの全ての設定は「設定開始 → 機能設定コード → 設定終了」で行います。

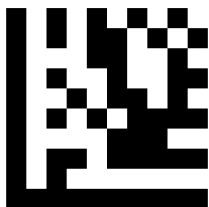
UPC-A



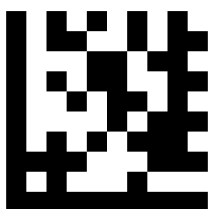
* UPC-A を有効にする



UPC-A を無効にする



* 最初のビットを転送

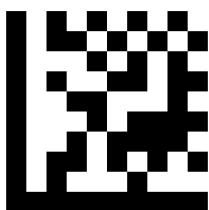


最初のビットを転送しない

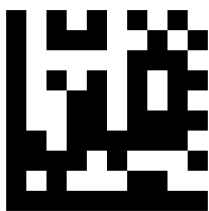




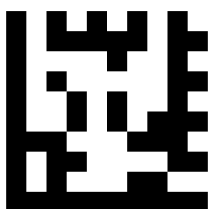
設定開始



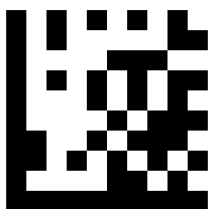
* チェックコードを有効にする



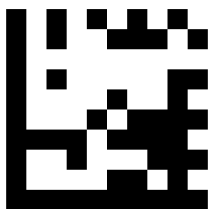
チェックサムを無効にする



EAN-13 変換を有効にする



* EAN-13 変換を無効にする

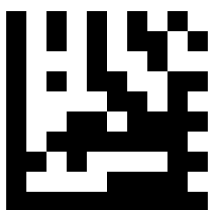


UPC-A 2/5 桁の追加コードを有効にする

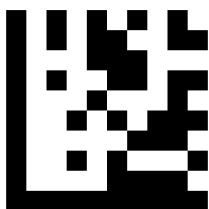




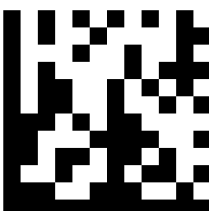
設定開始



* UPC-A 2/5 桁の追加コードを無効にする

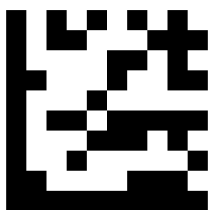


読み取り専用 UPC-A 2/5 桁の追加コード

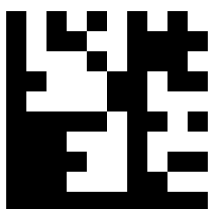


* UPC-A および UPC-A 2/5 桁の追加コードを読み取ります

UPC-E



* UPC-E を有効にする

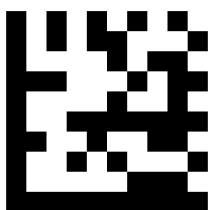


UPC-A を無効にする

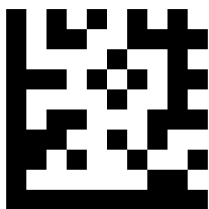




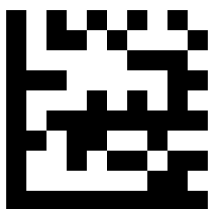
設定開始



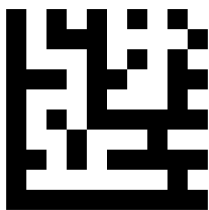
* 最初のビットを転送



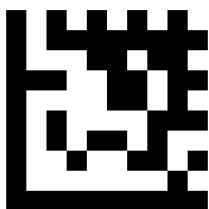
最初のビットを転送しない



* チェックコードを有効にする



チェックサムを無効にする

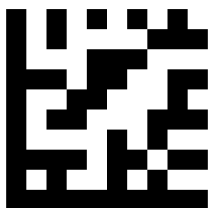


UPC-A 変換を有効にする

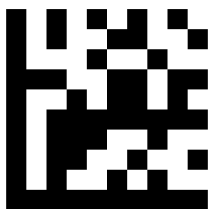




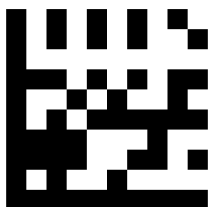
設定開始



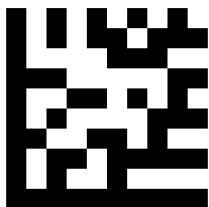
* UPC-A 変換を無効にする



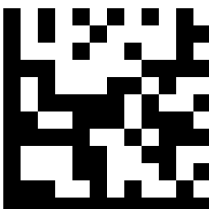
UPC-E 2/5 桁の追加コードを有効にする



* UPC-E 2/5 桁の追加コードを無効にする



読み取り専用 UPC-E 2/5 桁の追加コード



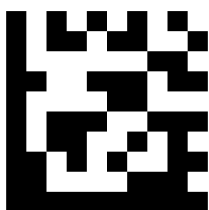
* UPC-E および UPC-E 2/5 桁の追加コードを読み取ります

EAN-8

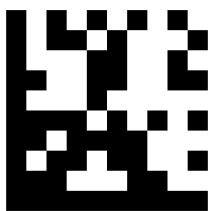




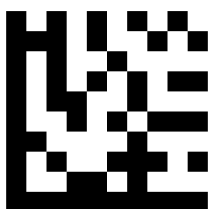
設定開始



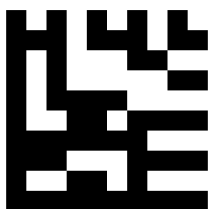
* EAN-8 を有効にする



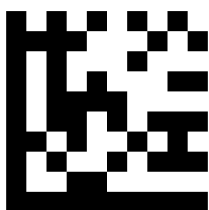
EAN-8 を無効にする



* 送信チェックデジット



チェックデジットが送信されませんでした

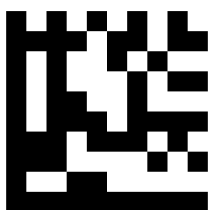


EAN-13 変換を有効にする

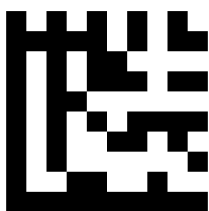




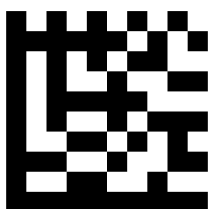
設定開始



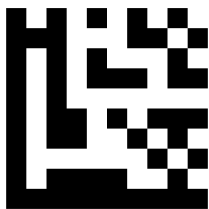
* EAN-13 変換を無効にする



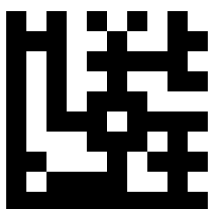
EAN-8 2/5 桁の追加コードを有効にする



* EAN-8 2/5 桁の追加コードを無効にする



読み取り専用 EAN-8 2/5 桁の追加コード



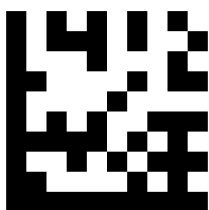
* EAN-8 および EAN-8 2/5 桁の追加コードを読み取ります

EAN-13

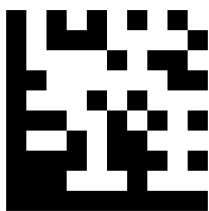




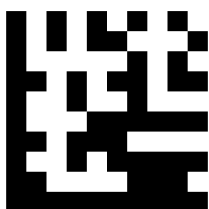
設定開始



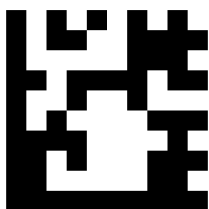
* EAN-13 を有効にする



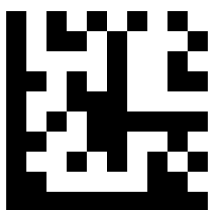
EAN-13 を無効にする



* 送信チェックデジット



チェックデジットが送信されませんでした

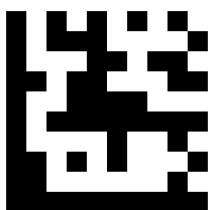


ISBN 翻訳を有効にする

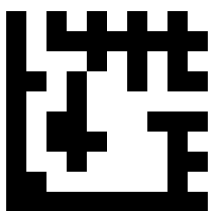




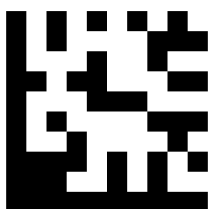
設定開始



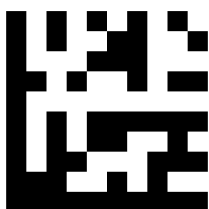
* ISBN 変換を無効にする



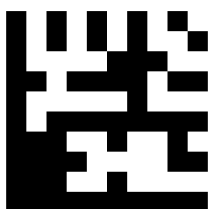
ISSN 翻訳を有効にする



* ISSN 変換を無効にする



EAN-13 2/5 桁の追加コードを有効にする

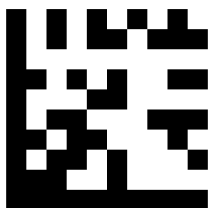


* EAN-13 2/5 桁の追加コードを無効にする

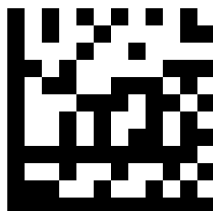




設定開始

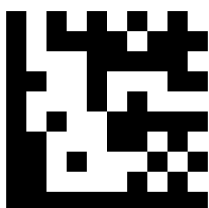


読み取り専用 EAN-13 2/5 桁の追加コード

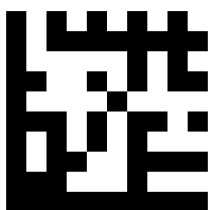


* EAN-13 および EAN-13 2/5 桁の追加コードを読み取ります

Code 128 / GS1-128

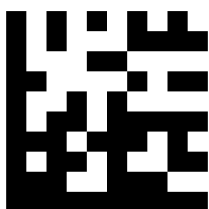


* Code 128 / GS1-128 を有効にする



Code 128 / GS1-128 を無効にする

Code 39

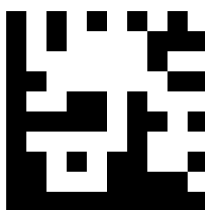


* Code 39 を有効にする

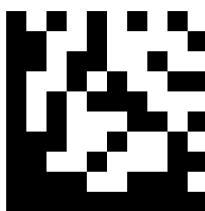




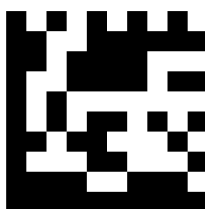
設定開始



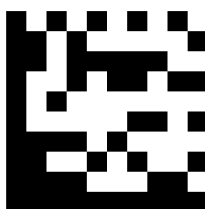
Code 39 を無効にする



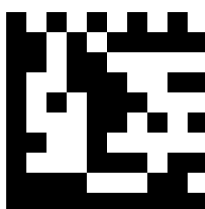
Code 39 Full ASCII 機能を有効にする



* Code 39 Full ASCII 機能を無効にする



送信開始/終了文字

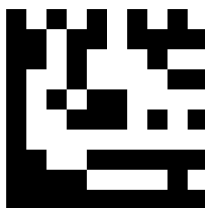


* 開始/終了文字を送信しない

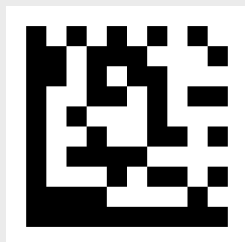




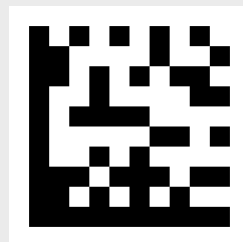
設定開始



* 検証なし



確認して送信する

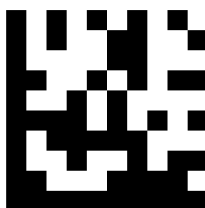


認証が送信されない

Code 93

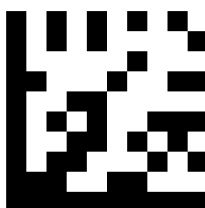


コード 93 を有効にする



* コード 93 を無効にする

Code 32

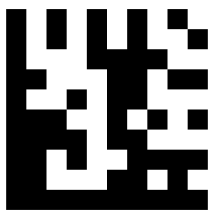


コード 32 を有効にする



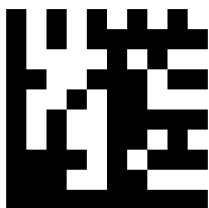


設定開始

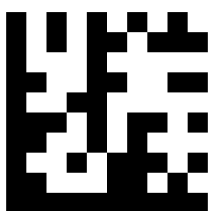


*コード 32 を無効にする

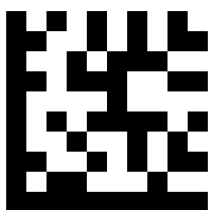
Code 11



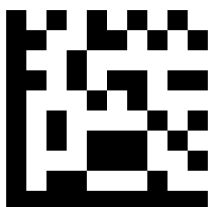
コード 11 を有効にする



*コード 11 を無効にする



*送信チェックデジット



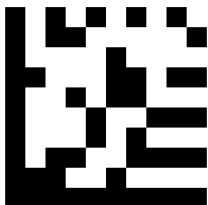
チェックデジットが送信されませんでした



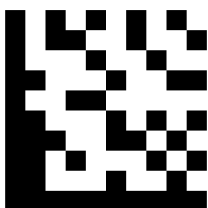


設定開始

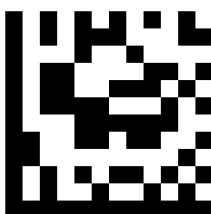
Codabar



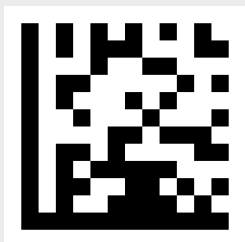
* Codabar を有効にする



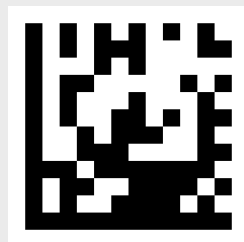
Codabar を無効にする



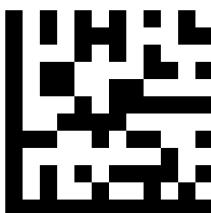
* 検証なし



確認して送信する



認証が送信されない

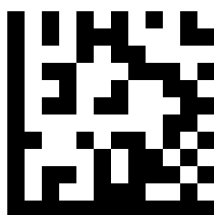


送信開始/終了文字



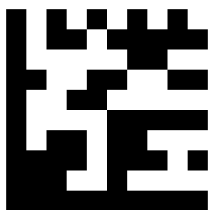


設定開始

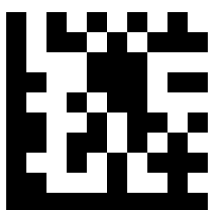


* 開始/終了文字を送信しない

Plessey

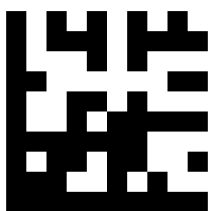


プレッシーを有効にする

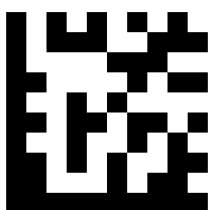


* Plessey を無効にする

MSI Plessey



* MSI Plessey を有効にする

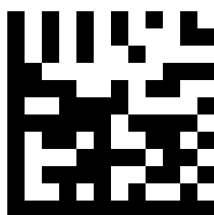


MSI Plessey を無効にする





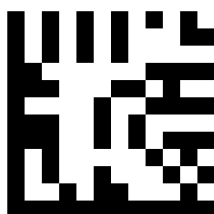
設定開始



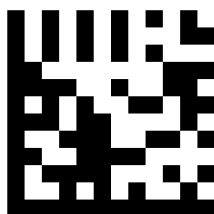
検証なし



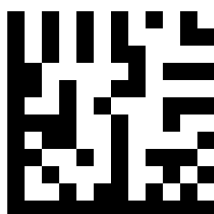
* Mod 10 チェックサム



Mod 10/10 の検証



Mod 11/10 の検証

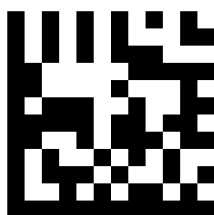


* 送信チェックデジット



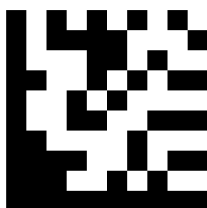


設定開始

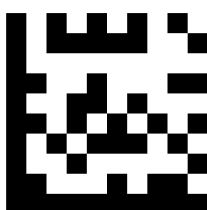


チェックデジットが送信されませんでした

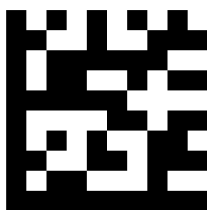
Interleaved 2 of 5



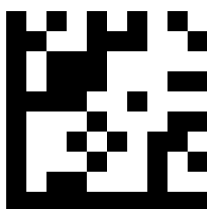
* Interleaved 2 of 5 を有効にする



Interleaved 2 of 5 を無効にする



* 検証なし



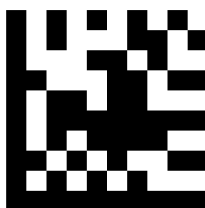
確認して送信する



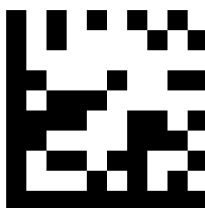


設定開始

IATA 2 of 5

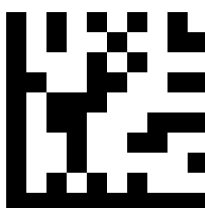


IATA 2/5 を有効にする

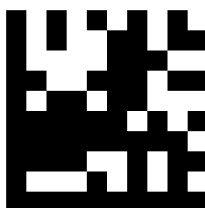


* IATA 2/5 を無効にする

Matrix 2 of 5



マトリックス 2/5 を有効にする



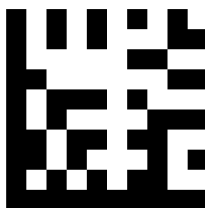
* マトリックス 2/5 を無効にする

Straight 2 of 5

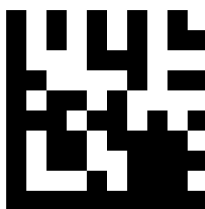




設定開始

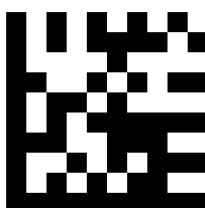


ストレート 2/5 を有効にする

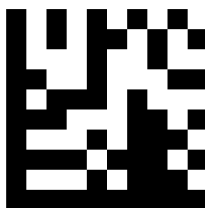


* ストレート 2/5 を無効にする

Pharmacode

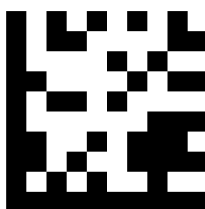


ファーマコードを有効にする



* ファーマコードを無効にする

GS1 DataBar 14

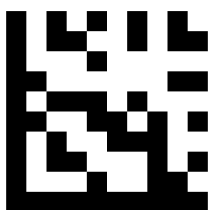


* GS1 データバー 14 を有効にする

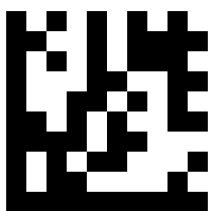




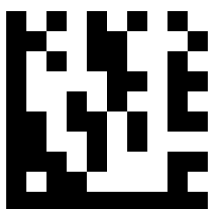
設定開始



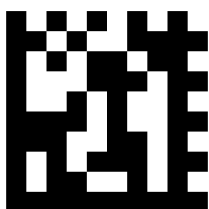
GS1 データバー 14 を無効にする



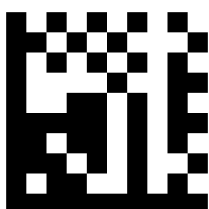
GS1 DataBar 14 スタックを有効にする



* GS1 DataBar 14 スタックを無効にする



* AI (01) 文字を出力します



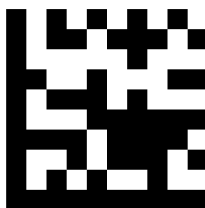
AI(01) 文字は出力されません

GS1 DataBar Expanded

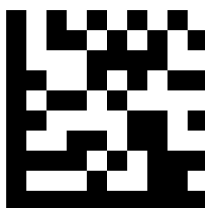




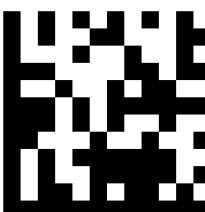
設定開始



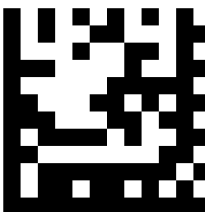
* GS1 データバーの展開を有効にする



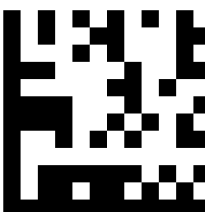
GS1 データバー展開を無効にする



GS1 DataBar を有効にする拡張スタック



* GS1 DataBar 拡張スタックを無効にする

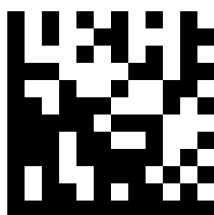


* AI (01) 文字を出力します



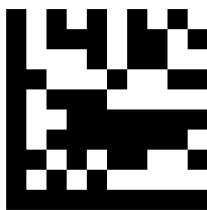


設定開始

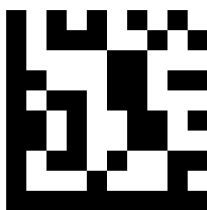


AI(01) 文字は出力されません

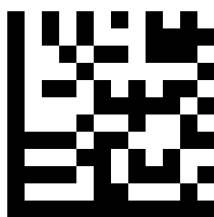
GS1 DataBar Limited



* GS1 DataBar 限定を有効にする



GS1 DataBar 限定を無効にする



* AI (01) 文字を出力します



AI(01) 文字は出力されません





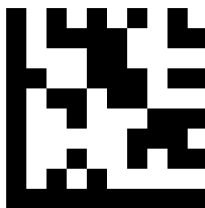
設定開始

QRコードとコンポジットコードの設定

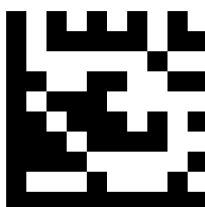
重要

このグループの全ての設定は「設定開始 → 機能設定コード → 設定終了」で行います。

Composite Code-A

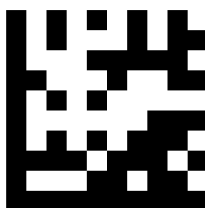


複合コード A を有効にする

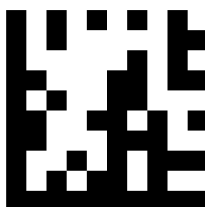


* 複合コード A を無効にする

Composite Code-B



複合コード-B を有効にする



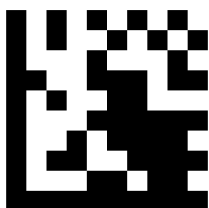
* 複合コード B を無効にする



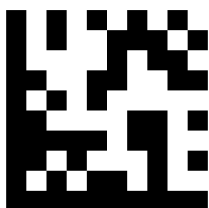


設定開始

Composite Code-C



複合コード C を有効にする

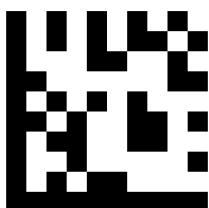


* 複合コード C を無効にする

PDF417



* PDF417 を有効にする



PDF417 を無効にする

Micro PDF417

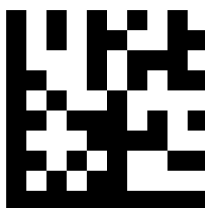




設定開始

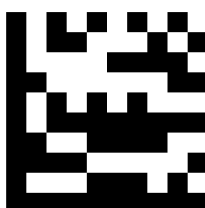


* MicroPDF417 を有効にする



マイクロ PDF417 を無効にする

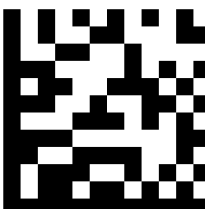
Data Matrix



* Data Matrix を有効にする



Data Matrix を無効にする

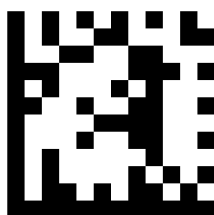


* 画像のデコードを有効にする

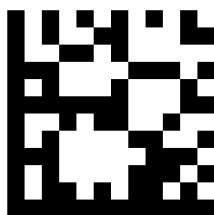




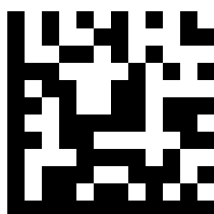
設定開始



画像デコードを無効にする

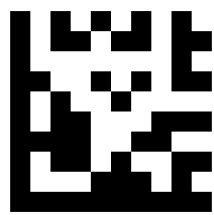


* 長方形 Data Matrix を有効にする

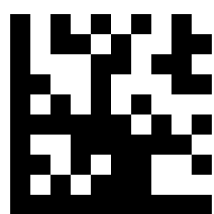


長方形 Data Matrix を無効にする

QR Code

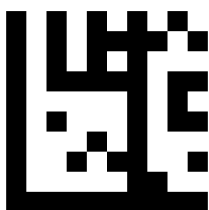


* QR Code を有効にする

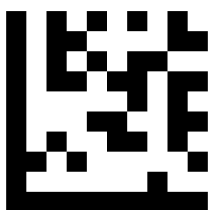


QR Code を無効にする



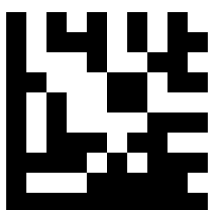


* 画像のデコードを有効にする



画像デコードを無効にする

Micro QR

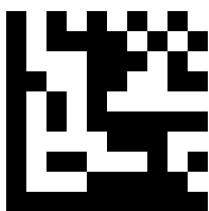


* マイクロ QR を有効にする



マイクロ QR を無効にする

Aztec

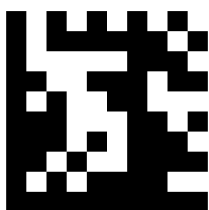


アステカを有効にする

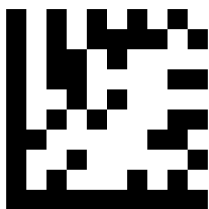




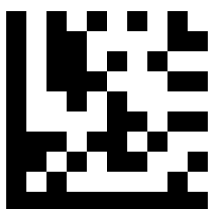
設定開始



* アステカを無効にする

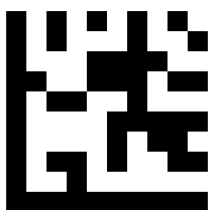


* 画像のデコードを有効にする

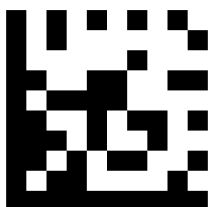


画像デコードを無効にする

MaxiCode



マキシコードを有効にする



* MaxiCode を無効にする





デコード長の設定

重要

このグループの全ての設定は「設定開始 → 機能設定コード → 設定終了」で行います。

次の設定は、各コードシステムの読み取り可能な長さを制限するために使用されます。この例では、Code 128 を例にしています。

単一の長さに制限する

単一長のバーコードの読み取りを制限します。たとえば、14 文字の長さのバーコードのみを読み取るように Code 128 を設定します。

設定例

1. 「セットアップの開始」をスキャンします。
2. Code 128 の「単一長に制限」設定コードをスキャンします。
3. ASCII コード表内の 1 設定コードをスキャンします。
4. ASCII コード表内の 4 設定コードをスキャンします。
5. 「セットアップの終了」をスキャンします。

2つの異なる長さに制限する

長さの異なる 2 つのバーコードの読み取りを制限します。たとえば、2 文字と 14 文字の長さのバーコードを読み取るように Code 128 を設定します。

設定例

1. 「セットアップの開始」をスキャンします。
2. Code 128 の「2 つの異なる長さを制限する」設定コードをスキャンします。
3. ASCII コード表内の 0 設定コードをスキャンします。
4. ASCII コード表内の 2 設定コードをスキャンします。
5. ASCII コード表内の 1 設定コードをスキャンします。
6. ASCII コード表内の 4 設定コードをスキャンします。
7. 「セットアップの終了」をスキャンします。

長さの範囲を制限する

バーコードの読み取り長の範囲を制限します。たとえば、Code 128 の読み取り長の範囲を 08~14 文字に設定します。





設定開始

設定例

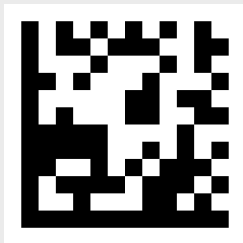
1. 「セットアップの開始」をスキャンします。
2. Code 128 の「制限長範囲」設定コードをスキャンします。
3. ASCII コード表内の 0 設定コードをスキャンします。
4. ASCII コード表内の 8 設定コードをスキャンします。
5. ASCII コード表内の 1 設定コードをスキャンします。
6. ASCII コード表内の 4 設定コードをスキャンします。
7. 「セットアップの終了」をスキャンします。

任意の長さ

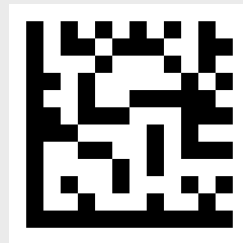
設定例

1. 「セットアップの開始」をスキャンします。
2. Code 128 の「任意の長さ」設定コードをスキャンします。
3. 「セットアップの終了」をスキャンします。

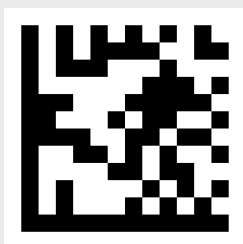
Code 128



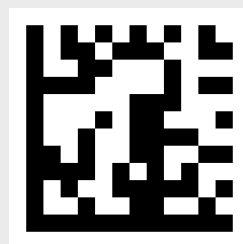
単一の長さに制限する



2つの異なる長さに制限する



長さの範囲を制限する



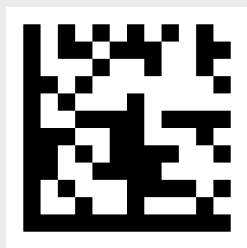
* 任意の長さ



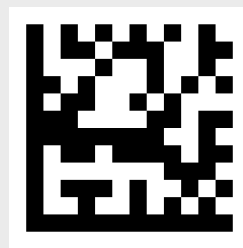


設定開始

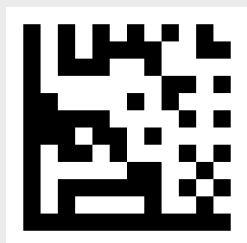
Code 39



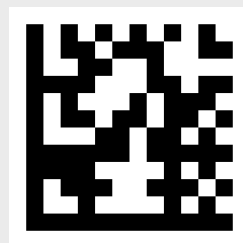
単一の長さに制限する



2つの異なる長さに制限する

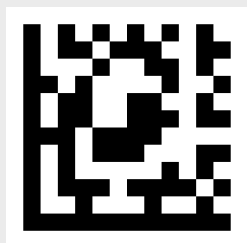


長さの範囲を制限する

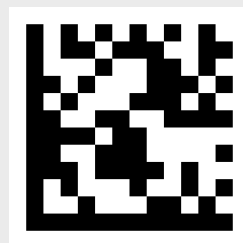


* 任意の長さ

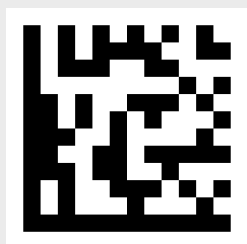
Code 93



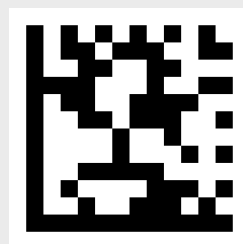
単一の長さに制限する



2つの異なる長さに制限する



長さの範囲を制限する



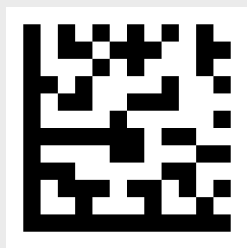
* 任意の長さ



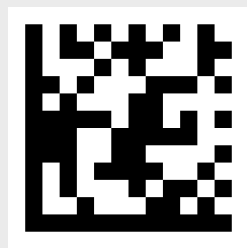


設定開始

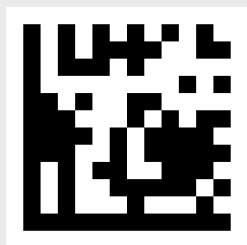
Codabar



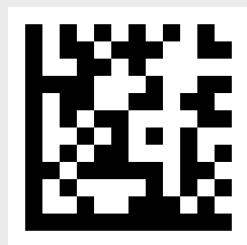
単一の長さに制限する



2つの異なる長さに制限する

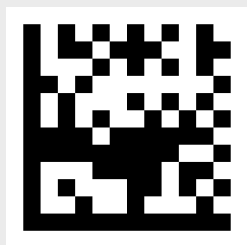


長さの範囲を制限する

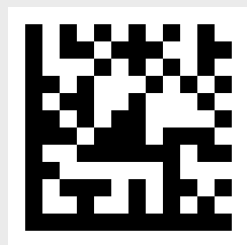


* 任意の長さ

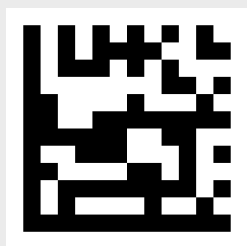
Interleaved 2 of 5



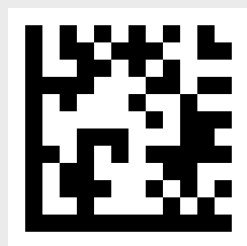
単一の長さに制限する



2つの異なる長さに制限する



長さの範囲を制限する



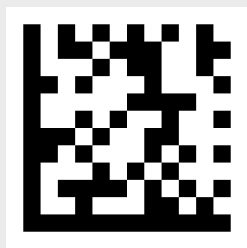
* 任意の長さ



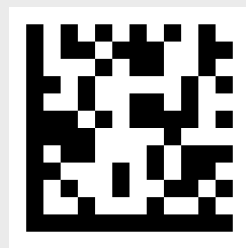


設定開始

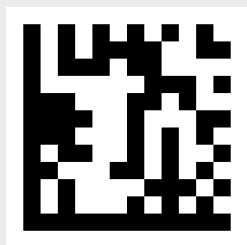
Code 11



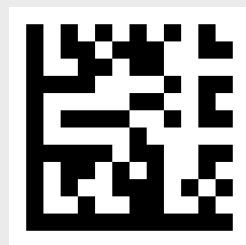
単一の長さに制限する



2つの異なる長さに制限する

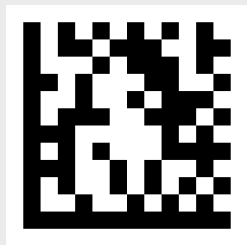


長さの範囲を制限する

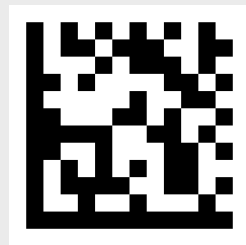


* 任意の長さ

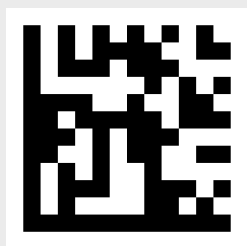
MSI Plessey



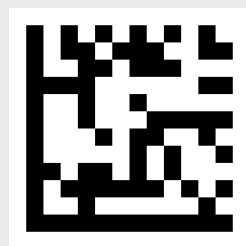
単一の長さに制限する



2つの異なる長さに制限する



長さの範囲を制限する



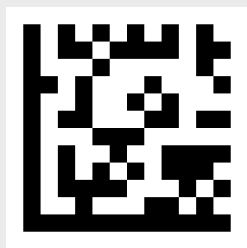
* 任意の長さ



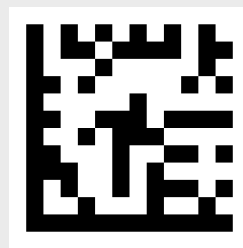


設定開始

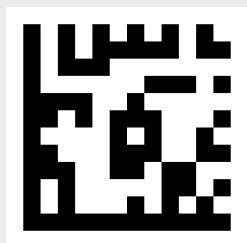
Matrix 2 of 5



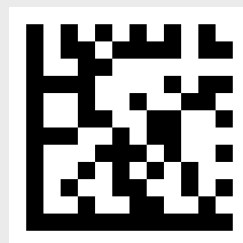
単一の長さに制限する



2つの異なる長さに制限する



長さの範囲を制限する



* 任意の長さ

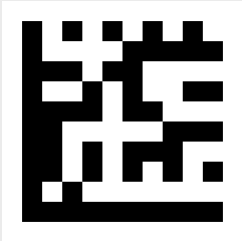
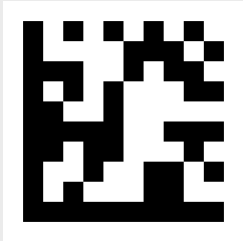
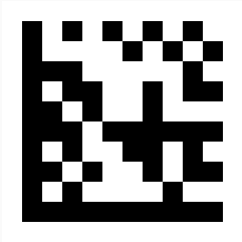
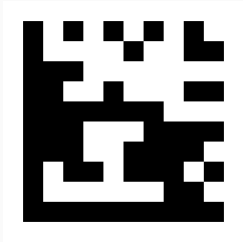
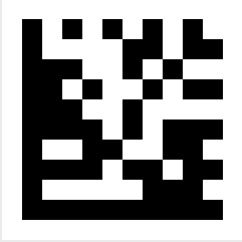
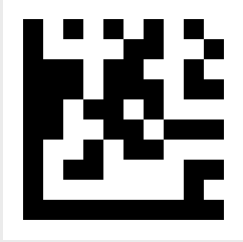
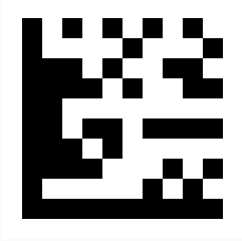
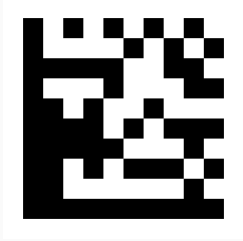
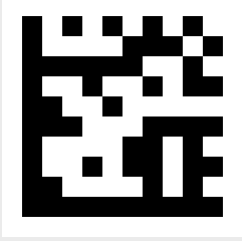
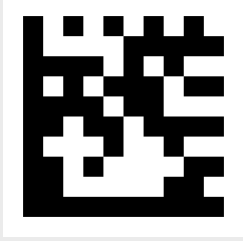
11.6 エンジンセッティングコード





設定開始

10 進数

番号	セットアップコード	番号	セットアップコード
0		1	
2		3	
4		5	
6		7	
8		9	

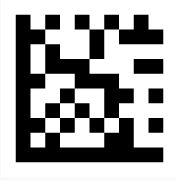




11.7 エンジンキャラクターテーブル

ASCII コード表

制御文字（ファンクションキーのマッピング）

Hex	Dec	ASCII	Ctrl 文字モード	Alt + Unicode モード
00	0	Null	Ctrl+@	Alt + 000
01	1	Home	Ctrl+A	Alt + 001
02	2	End	Ctrl+B	Alt + 002
03	3	Up Arrow	Ctrl+C	Alt + 003
04	4	Down Arrow	Ctrl+D	Alt + 004
05	5	Left Arrow	Ctrl+E	Alt + 005
06	6	Right Arrow	Ctrl+F	Alt + 006
07	7	Null	Ctrl+G	Alt + 007
08	8		Backspace	Alt + 008
				
09	9		TAB	Alt + 009
				
0A	10	Null	Ctrl+J	Alt + 010
0B	11	Null	Ctrl+K	Alt + 011
0C	12	Null	Ctrl+L	Alt + 012
0D	13		Enter	Enter
				
0E	14	Page Up	Ctrl+N	Alt + 014
0F	15	Page Down	Ctrl+O	Alt + 015
10	16	F11	Ctrl+P	Alt + 016
11	17	Null	Ctrl+Q	Alt + 017
12	18	Null	Ctrl+R	Alt + 018
13	19	Null	Ctrl+S	Alt + 019
14	20	Null	Ctrl+T	Alt + 020
15	21	F12	Ctrl+U	Alt + 021
16	22	F1	Ctrl+V	Alt + 022
17	23	F2	Ctrl+W	Alt + 023
18	24	F3	Ctrl+X	Alt + 024
19	25	F4	Ctrl+Y	Alt + 025
1A	26	F5	Ctrl+Z	Alt + 026

次のページに続く

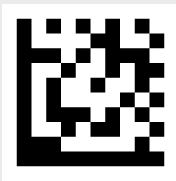




表 4 – 前のページからの続き

Hex	Dec	ASCII	Ctrl 文字モード	Alt + Unicode モード
1B	27	F6	Ctrl+[	Alt + 027
1C	28	F7	Ctrl+\	Alt + 028
1D	29	F8	Ctrl+]	Alt + 029
1E	30	F9	Ctrl+^	Alt + 030
1F	31	F10	Ctrl+_	Alt + 031

印刷可能な文字と削除

Hex	Dec	ASCII	セットアップコード
20	32	SPACE	
21	33	!	
22	34	"	
23	35	#	
24	36	\$	

次のページに続く





設定開始

表5 - 前のページからの続き

Hex	Dec	ASCII	セットアップコード
25	37	%	
26	38	&	
27	39	'	
28	40	(	
29	41	)	
2A	42	*	
2B	43	+	

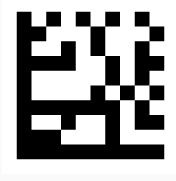
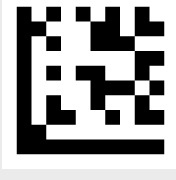
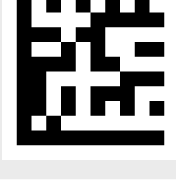
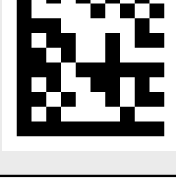
次のページに続く





設定開始

表 5 - 前のページからの続き

Hex	Dec	ASCII	セットアップコード
2C	44	,	
2D	45	-	
2E	46	.	
2F	47	/	
30	48	0	
31	49	1	
32	50	2	

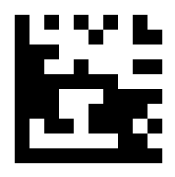
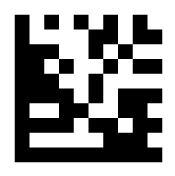
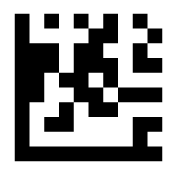
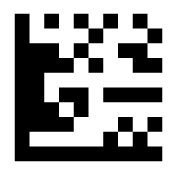
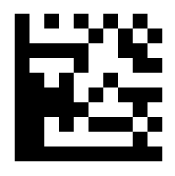
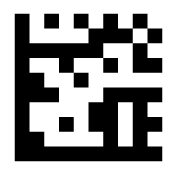
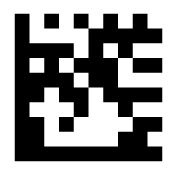
次のページに続く





設定開始

表 5 – 前のページからの続き

Hex	Dec	ASCII	セットアップコード
33	51	3	
34	52	4	
35	53	5	
36	54	6	
37	55	7	
38	56	8	
39	57	9	

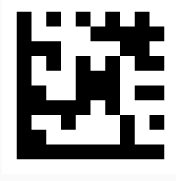
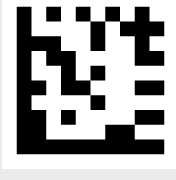
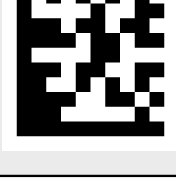
次のページに続く





設定開始

表 5 – 前のページからの続き

Hex	Dec	ASCII	セットアップコード
3A	58	:	
3B	59	;	
3C	60	<	
3D	61	=	
3E	62	>	
3F	63	?	
40	64	@	

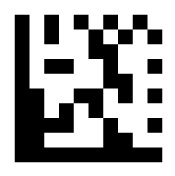
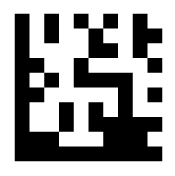
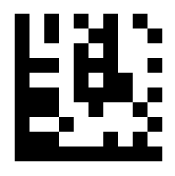
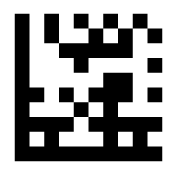
次のページに続く





設定開始

表 5 – 前のページからの続き

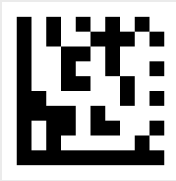
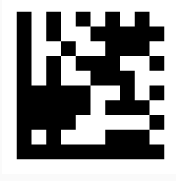
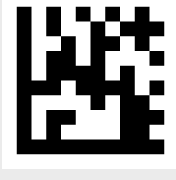
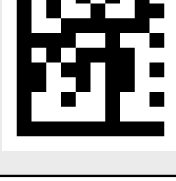
Hex	Dec	ASCII	セットアップコード
41	65	A	
42	66	B	
43	67	C	
44	68	D	
45	69	E	
46	70	F	
47	71	G	

次のページに続く





表 5 - 前のページからの続き

Hex	Dec	ASCII	セットアップコード
48	72	H	
49	73	I	
4A	74	J	
4B	75	K	
4C	76	L	
4D	77	M	
4E	78	N	

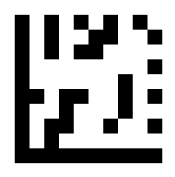
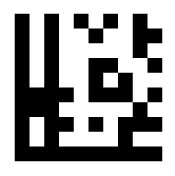
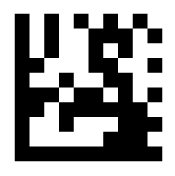
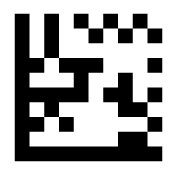
次のページに続く





設定開始

表 5 – 前のページからの続き

Hex	Dec	ASCII	セットアップコード
4F	79	O	
50	80	P	
51	81	Q	
52	82	R	
53	83	S	
54	84	T	
55	85	U	

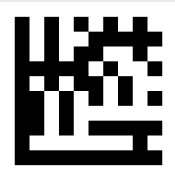
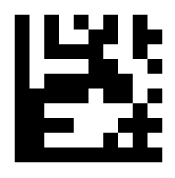
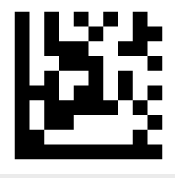
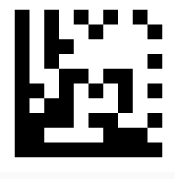
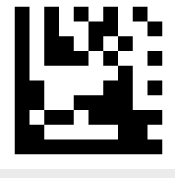
次のページに続く





設定開始

表 5 – 前のページからの続き

Hex	Dec	ASCII	セットアップコード
56	86	V	
57	87	W	
58	88	X	
59	89	Y	
5A	90	Z	
5B	91	[	
5C	92	\	

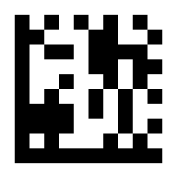
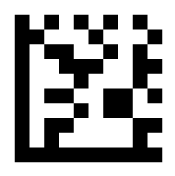
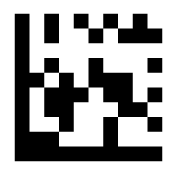
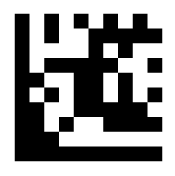
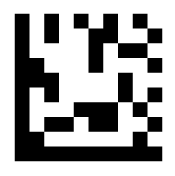
次のページに続く





設定開始

表 5 – 前のページからの続き

Hex	Dec	ASCII	セットアップコード
5D	93	]	
5E	94	^	
5F	95	_	
60	96	`	
61	97	a	
62	98	b	
63	99	c	

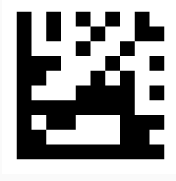
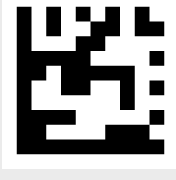
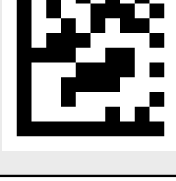
次のページに続く





設定開始

表 5 – 前のページからの続き

Hex	Dec	ASCII	セットアップコード
64	100	d	
65	101	e	
66	102	f	
67	103	g	
68	104	h	
69	105	i	
6A	106	j	

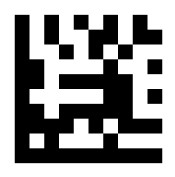
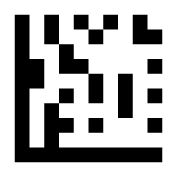
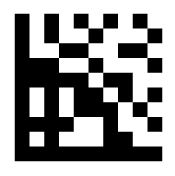
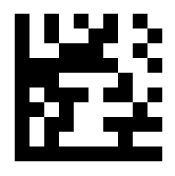
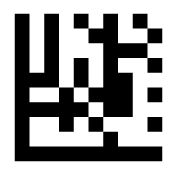
次のページに続く





設定開始

表 5 - 前のページからの続き

Hex	Dec	ASCII	セットアップコード
6B	107	k	
6C	108	l	
6D	109	m	
6E	110	n	
6F	111	o	
70	112	p	
71	113	q	

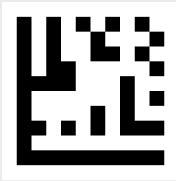
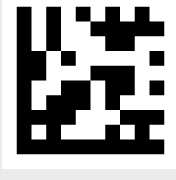
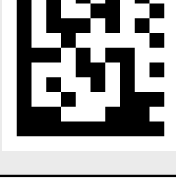
次のページに続く





設定開始

表 5 – 前のページからの続き

Hex	Dec	ASCII	セットアップコード
72	114	r	
73	115	s	
74	116	t	
75	117	u	
76	118	v	
77	119	w	
78	120	x	

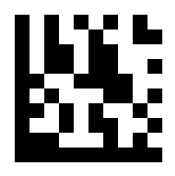
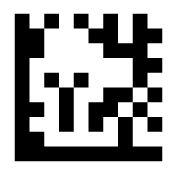
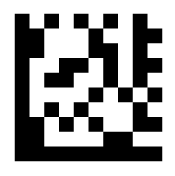
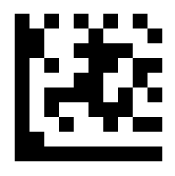
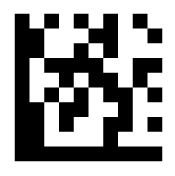
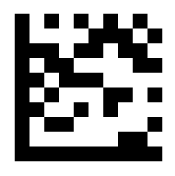
次のページに続く





設定開始

表 5 - 前のページからの続き

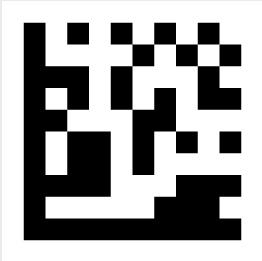
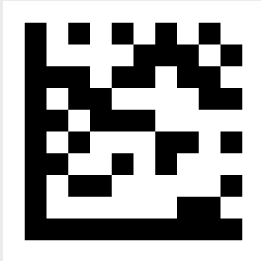
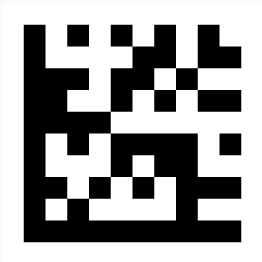
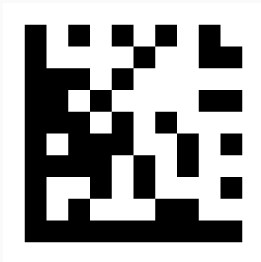
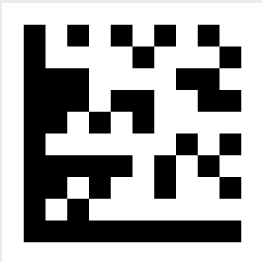
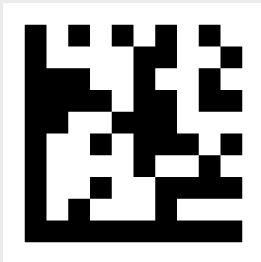
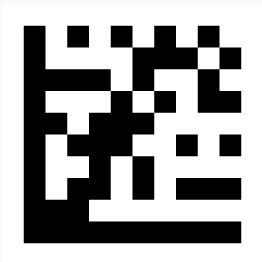
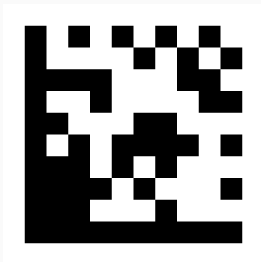
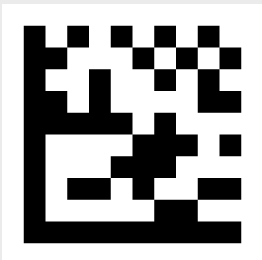
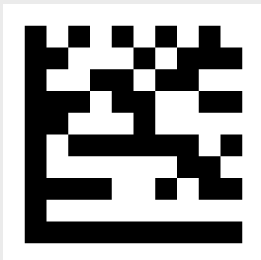
Hex	Dec	ASCII	セットアップコード
79	121	y	
7A	122	z	
7B	123	{	
7C	124		
7D	125	}	
7E	126	~	
7F	127	Delete	





設定開始

ファンクションキー

ボタン	セットアップコード	ボタン	セットアップコード
Insert		Delete	
Home		End	
Up Arrow		Down Arrow	
Left Arrow		Right Arrow	
Shift		ESC	

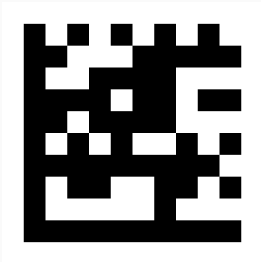
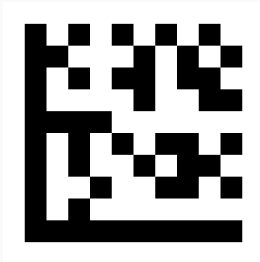
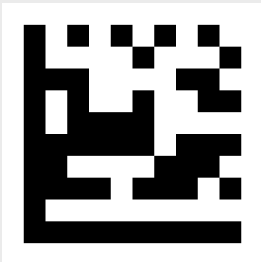
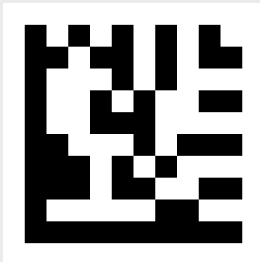
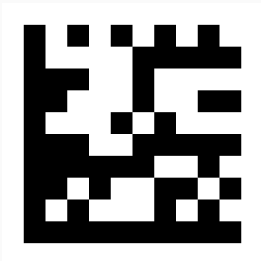
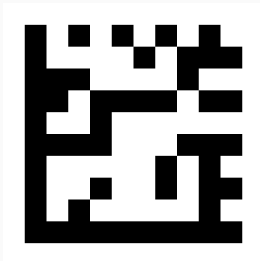
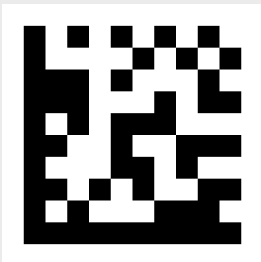
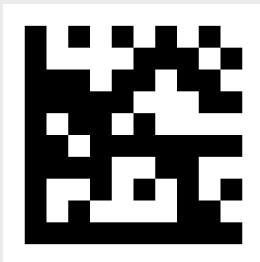
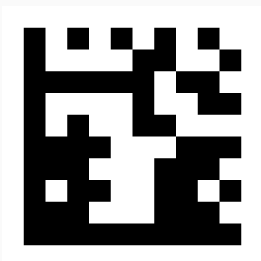
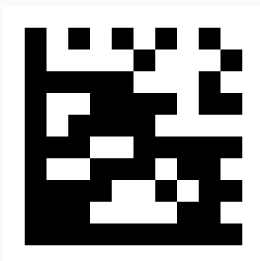
次のページに続く





設定開始

表 6 - 前のページからの続き

ボタン	セットアップコード	ボタン	セットアップコード
Page Up		Page Down	
F1		F2	
F3		F4	
F5		F6	
F7		F8	

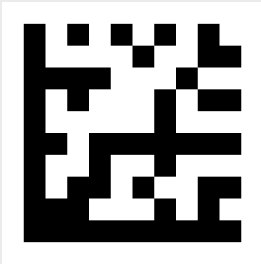
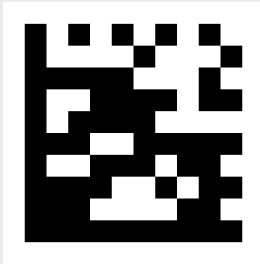
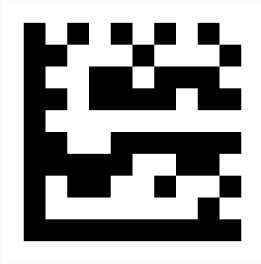
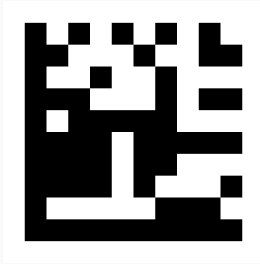
次のページに続く





設定開始

表 6 - 前のページからの続き

ボタン	セットアップコード	ボタン	セットアップコード
F9		F10	
F11		F12	



12 付録

12.1 文字検索テーブル

ASCII ファンクションキー文字比較表

00H-0FH

HEX	CODE	* 構成 0	Config3	Config1	Config4	Config2 Windows	Config5 Windows
00H	NUL	NUL	NUL	Ctrl+@	Ctrl+@	ALT+000	ALT+000
01H	SOH	NUL	NUL	Ctrl+A	Ctrl+A	ALT+001	ALT+001
02H	STX	NUL	NUL	Ctrl+B	Ctrl+B	ALT+002	ALT+002
03H	ETX	NUL	NUL	Ctrl+C	Ctrl+C	ALT+003	ALT+003
04H	EOT	NUL	NUL	Ctrl+D	Ctrl+D	ALT+004	ALT+004
05H	ENQ	NUL	NUL	Ctrl+E	Ctrl+E	ALT+005	ALT+005
06H	ACK	NUL	NUL	Ctrl+F	Ctrl+F	ALT+006	ALT+006
07H	BEL	NUL	NUL	Ctrl+G	Ctrl+G	ALT+007	ALT+007
08H	BS	Backspace	Backspace	Ctrl+H	Ctrl+H	ALT+008	ALT+008
09H	HT	TAB	TAB	TAB	Ctrl+I	ALT+009	ALT+009
0AH	LF	NUL	Enter	Ctrl+J	Ctrl+J	ALT+010	ALT+010
0BH	VT	TAB	TAB	Ctrl+K	Ctrl+K	ALT+011	ALT+011
0CH	FF	NUL	NUL	Ctrl+L	Ctrl+L	ALT+012	ALT+012
0DH	CR	Enter	Enter	Enter	Ctrl+M	Enter	ALT+013
0EH	SO	NUL	NUL	Ctrl+N	Ctrl+N	ALT+014	ALT+014
0FH	SI	NUL	NUL	Ctrl+O	Ctrl+O	ALT+015	ALT+015

10H-1FH

HEX	CODE	* 構成 0/3	Config1/4	Config2/5 Windows
10H	DLE	NUL	Ctrl+P	ALT+016
11H	DC1	NUL	Ctrl+Q	ALT+017
12H	DC2	NUL	Ctrl+R	ALT+018
13H	DC3	NUL	Ctrl+S	ALT+019
14H	DC4	NUL	Ctrl+T	ALT+020
15H	NAK	NUL	Ctrl+U	ALT+021
16H	SYN	NUL	Ctrl+V	ALT+022
17H	ETB	NUL	Ctrl+W	ALT+023
18H	CAN	NUL	Ctrl+X	ALT+024
19H	EM	NUL	Ctrl+Y	ALT+025
1AH	SUB	NUL	Ctrl+Z	ALT+026
1BH	ESC	ESC	Ctrl+[	ALT+027
1CH	FS	NUL	Ctrl+\	ALT+028
1DH	GS	NUL	Ctrl+]	ALT+029
1EH	RS	NUL	Ctrl+^	ALT+030
1FH	US	NUL	Ctrl+-	ALT+031

i 注釈

Mac システムでは、Ctrl キーは Command キーに対応します。

ASCII 文字比較表

20H-5FH

HEX	ASCII	HEX	ASCII	HEX	ASCII	HEX	ASCII
20H	Space	30H	0	40H	@	50H	P
21H	!	31H	1	41H	A	51H	Q
22H	"	32H	2	42H	B	52H	R
23H	#	33H	3	43H	C	53H	S
24H	\$	34H	4	44H	D	54H	T
25H	%	35H	5	45H	E	55H	U
26H	&	36H	6	46H	F	56H	V
27H	'	37H	7	47H	G	57H	W
28H	(	38H	8	48H	H	58H	X
29H	)	39H	9	49H	I	59H	Y
2AH	*	3AH	:	4AH	J	5AH	Z
2BH	+	3BH	;	4BH	K	5BH	[
2CH	,	3CH	<	4CH	L	5CH	\
2DH	-	3DH	=	4DH	M	5DH	]
2EH	.	3EH	>	4EH	N	5EH	^
2FH	/	3FH	?	4FH	O	5FH	_

60H-9DH

HEX	ASCII	HEX	ASCII	HEX	Fun Key	HEX	Fun Key
60H	`	70H	p	80H	F1	90H	End
61H	a	71H	q	81H	F2	91H	Page Down
62H	b	72H	r	82H	F3	92H	Right Arrow
63H	c	73H	s	83H	F4	93H	Left Arrow
64H	d	74H	t	84H	F5	94H	Down Arrow
65H	e	75H	u	85H	F6	95H	Up Arrow
66H	f	76H	v	86H	F7	96H	Print Screen
67H	g	77H	w	87H	F8	97H	*Ctrl
68H	h	78H	x	88H	F9	98H	* シフト
69H	i	79H	y	89H	F10	99H	* 左 Alt
6AH	j	7AH	z	8AH	F11	9AH	* 右 Alt
6BH	k	7BH	{	8BH	F12	9BH	ls Delay
6CH	l	7CH		8CH	Insert	9CH	*Win-GUI
6DH	m	7DH	}	8DH	Home	9DH	* キーストローク
6EH	n	7EH	~	8EH	Page Up		
6FH	o	7FH	DEL	8FH	Delete		

i 注釈

Ctrl、Shift、Alt、GUI をプレフィックスまたはサフィックスとして設定すると、次の文字と組み合わせて出力されます (ALT、TH キーボードに設定した場合はサポートされません)。キーストローク後の文字がそのままキー値として出力されます。